南相馬市統計集

まちＤＡＴＡ２０２２

南相馬市

南相馬市統計集「まちＤス」について

本統計集は、「まちのことをＤａｔａで考えるスタートにしよう」という意味を込めて、「まちＤス（まちです）」と名づけました。

作成にあたっては、次の３つの「－ｉｚｅ」（アイズ）の視点を基本としています。

- 市政の現状の定量化（fixed quantitize）
- 分析のための比較化（comparisonize）
- 目でみる暮らしの視覚化(visionize)

本統計集が、実行性のある各種施策のための基礎資料として、幅広く活用いただければ幸いです。

目 次

１　沿革・・１

２　自然
（１）面積・・・３
（２）面積【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）地目別の土地面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）月別平均気温・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（５）月別平均降水量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３　人口
（１）人口・世帯・１世帯当たりの人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（２）人口【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（３）年齢別人口・・５
（４）世帯構成人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（５）高齢化率【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（６）高齢者１人を支える生産年齢人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（７）人口構造・・・７
（８）人口動態・・・８
（９）昼夜間人口・・８
（１０）主な流出・流入人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（１１）高齢者単身世帯数と総世帯数に占める割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（１２）行政区別高齢化率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

４　農林水産業
（１）農家数・・・11
（２）水稲作付面積及び収穫量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（３）漁業経営体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（４）海面漁業漁獲量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

５　労働・商工業
（１）産業別就業者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（２）相双職業安定所有効求人倍率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（３）民営事業所数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（４）民営事業所従業者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（５）商業（卸売業・小売業）の事業所数・従業者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（６）商業（卸売業・小売業）の年間販売額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（７）工業（製造業・従業者４人以上の事業所）の事業所数・従業者数・・・・・・・・14
（８）工業（製造業・従業者４人以上の事業所）の製造品出荷額・・・・・・・・・・・15

６　住宅
（１）利用関係別新設住宅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
（２）空家の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
（３）１か月当たり家賃別貸家数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
（４）１か月当たり平均家賃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
（５）住宅用太陽光発電導入促進事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

７　所得・物価
（１）市内総生産額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
（２）１人当たり市町村民所得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
（３）１人当たり市町村民所得【１３市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
（４）土地標準価格（平均価格）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
（５）住宅地標準価格（平均価格）【１３市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

８　行財政

（１）歳入決算額と市税収入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
（２）歳出決算額と公債費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
（３）積立基金現在高・・・20
（４）地方債現在高（普通会計）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
（５）財政力指数【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
（６）実質公債費比率【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
（７）職員数・・22
（８）人口１万人当たりの職員数（普通会計）【１３市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

９　福祉・健康

（１）合計特殊出生率【１３市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
（２）国民健康保険被保険者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
（３）介護保険料（第１号被保険者・基準額（年額 ））・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
（４）介護保険料（第１号被保険者・基準額（年額 ））【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・24
（５）要介護等認定者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
（６）要介護等認定率【１３市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
（７）婚姻・離婚件数・・25
（８）生活保護法による保護率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
（９）生活保護法による保護率【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
（１０）医療施設数・・・26
（１１）医療従事者数・・26
（１２）看護師・准看護師数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
（１３）小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値（小学４年生）・・・・・・・・・・・・・・27
（１４）小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値（中学１年生）・・・・・・・・・・・・・・27

１０　環境・安全

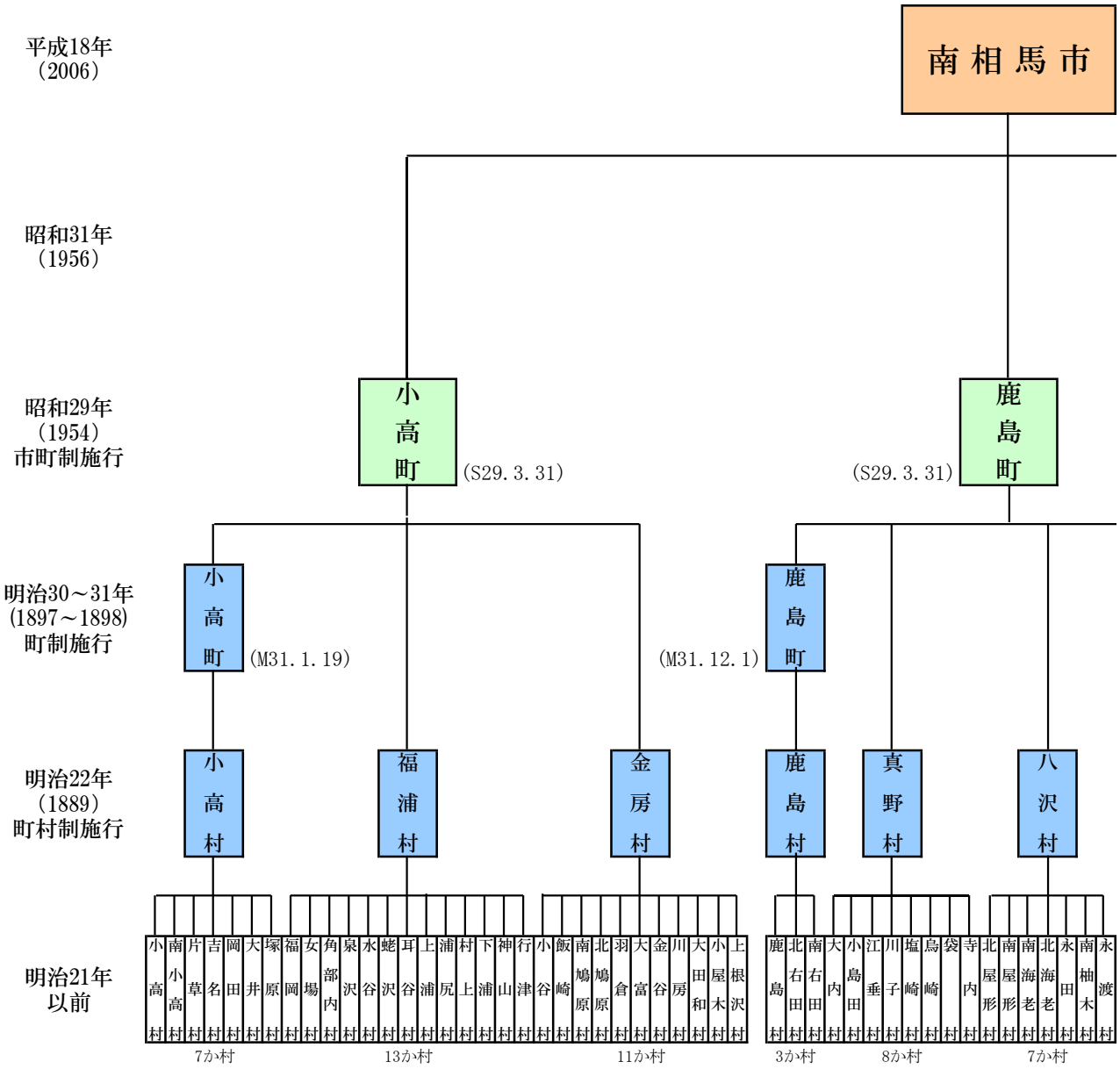
（１）上水道施設普及率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
（２）上水道施設普及率【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
（３）ごみ処理状況・・・28
（４）１日平均一人当たりのごみ排出量【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
（５）リサイクル率【 13 市比較】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
（６）交通事故発生状況及び死者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
（７）火災件数・・・30
（８）消防団員数・・30

１１　教育・文化

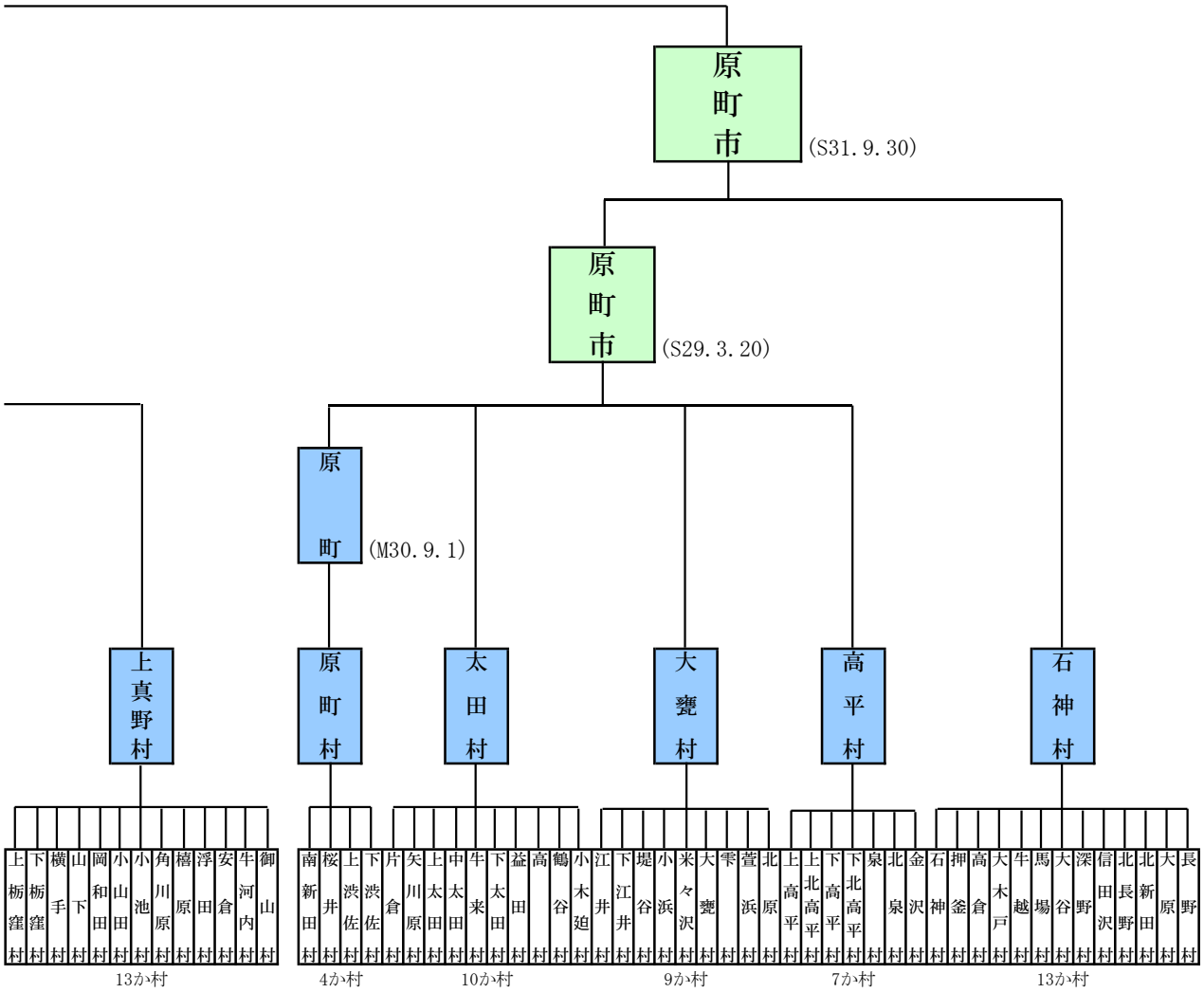
（１）保育園園児数・・・31
（２）幼稚園園児数・・・31
（３）小学校児童数・・・31
（４）放課後児童クラブの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
（５）中学校生徒数・・・32
（６）高等学校生徒数・・32
（７）市内高等学校卒業後の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
（８）生涯学習施設・スポーツ施設利用者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

1　沿革

平成18年1月1日に、旧小高町、旧鹿島町、旧原町市の1市2町が合併して、南相馬市が誕生しました。合併の歴史を振り返ってみると、明治22年の町村制の実施以前、105か村あった村が、117年の間に幾度かの合併を経て、現在の南相馬市1市となっています。



(H18.1.1)



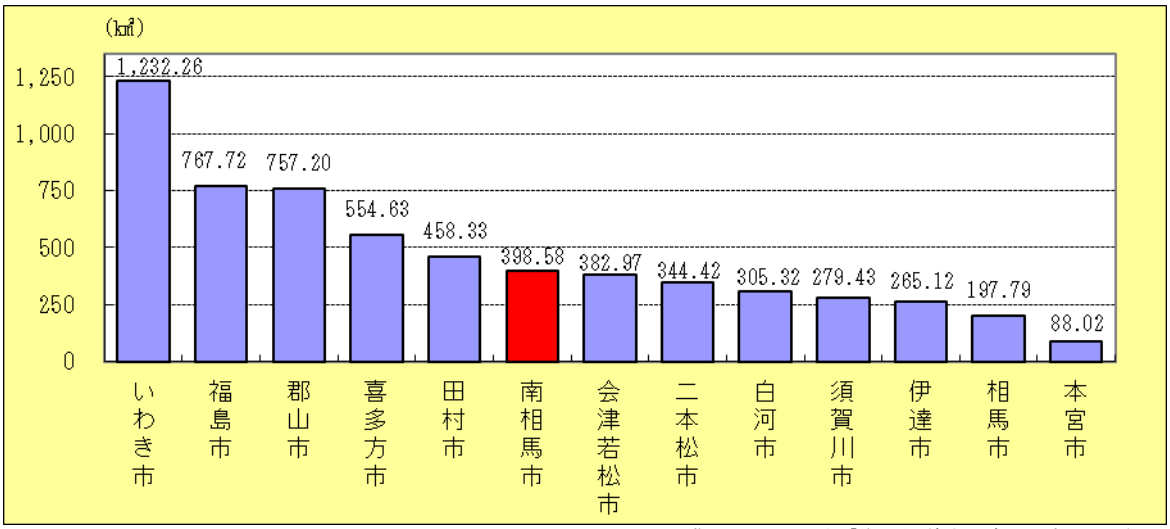
参考資料：「小高町史」（昭和50年12月　小高町教育委員会編纂）
「鹿島町誌」（昭和40年12月　鹿島町誌出版委員会編集）
「原町市史」（昭和43年 3月　原町市史編纂委員会編集）
「角川日本地名大辞典 7 福島県」（角川書店　昭和56年3月発行）　より作成

2　自然

（1）面積

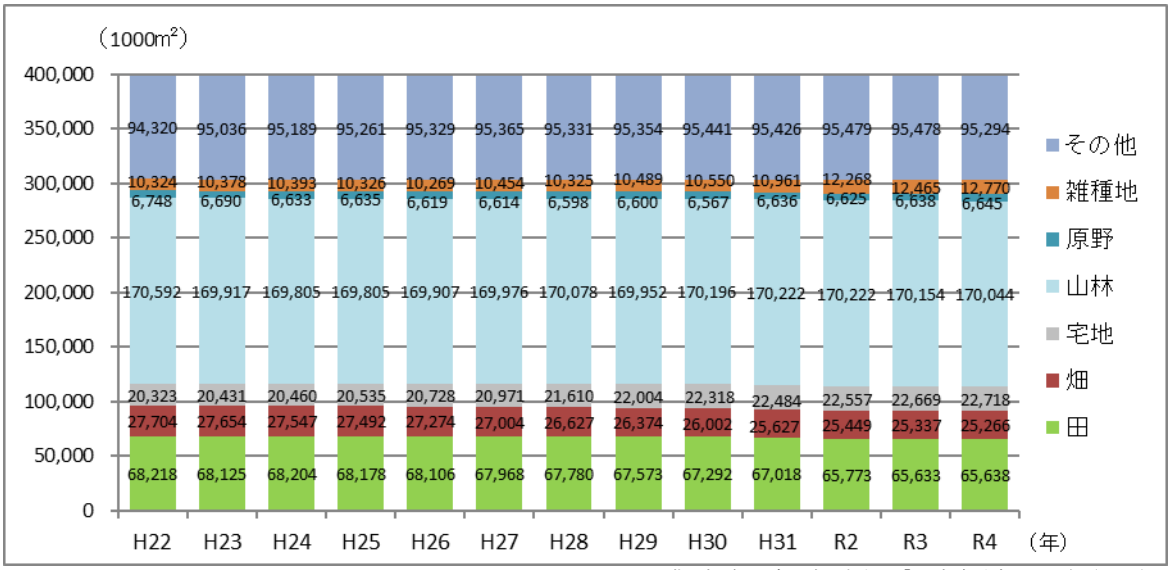
出典：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（令和４年 10 月 1 日現在）

（2）面積【13 市比較】／令和４年



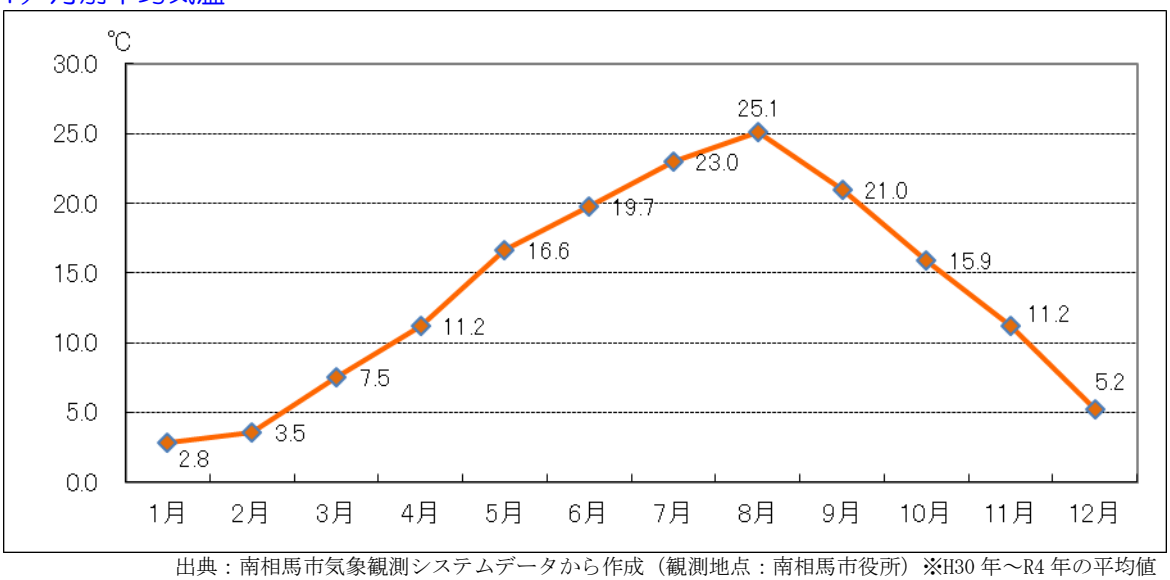
出典：国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
※会津若松市は一部境界未定

（3）地目別の土地面積



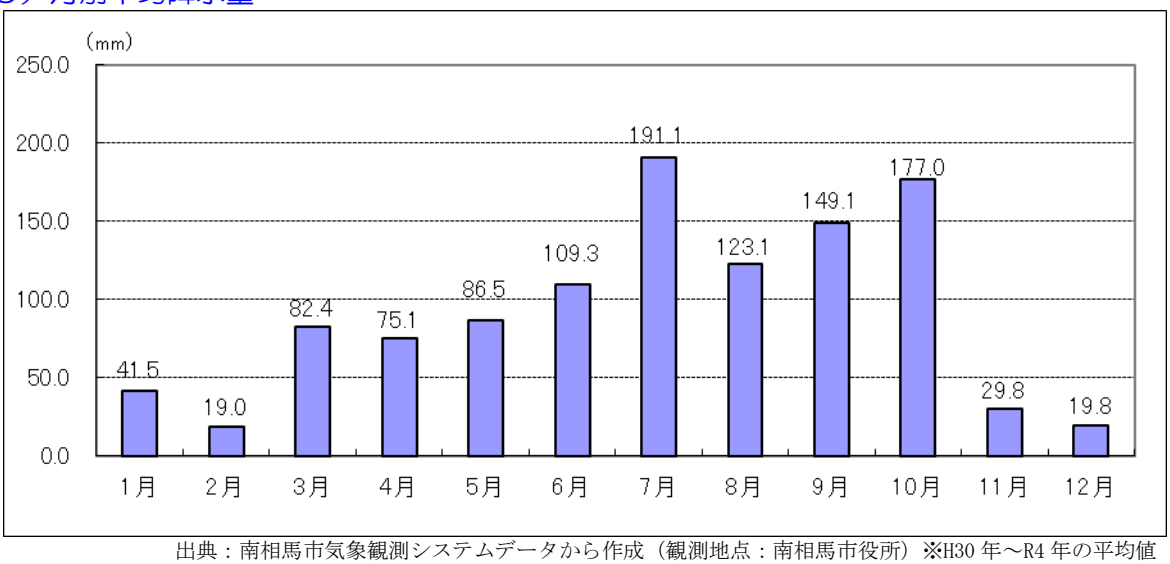
出典：福島県市町村財政課「固定資産概要調書（土地）」
※池沼、牧場、鉱泉地を除く

（4）月別平均気温



出典：南相馬市気象観測システムデータから作成（観測地点：南相馬市役所）※H30 年～R4 年の平均値

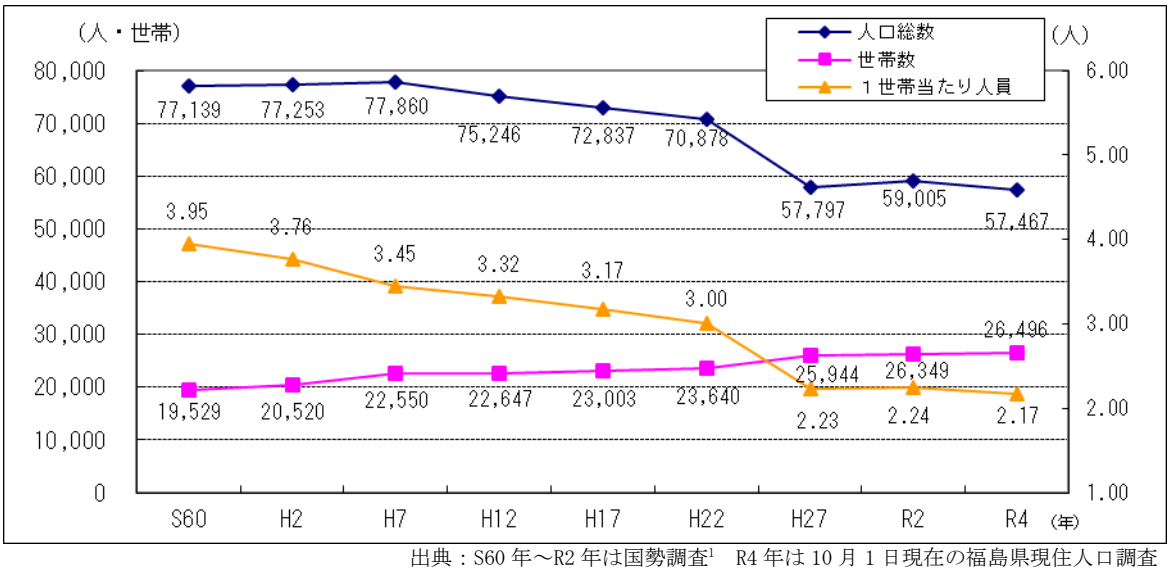
（5）月別平均降水量



出典：南相馬市気象観測システムデータから作成（観測地点：南相馬市役所）※H30 年～R4 年の平均値

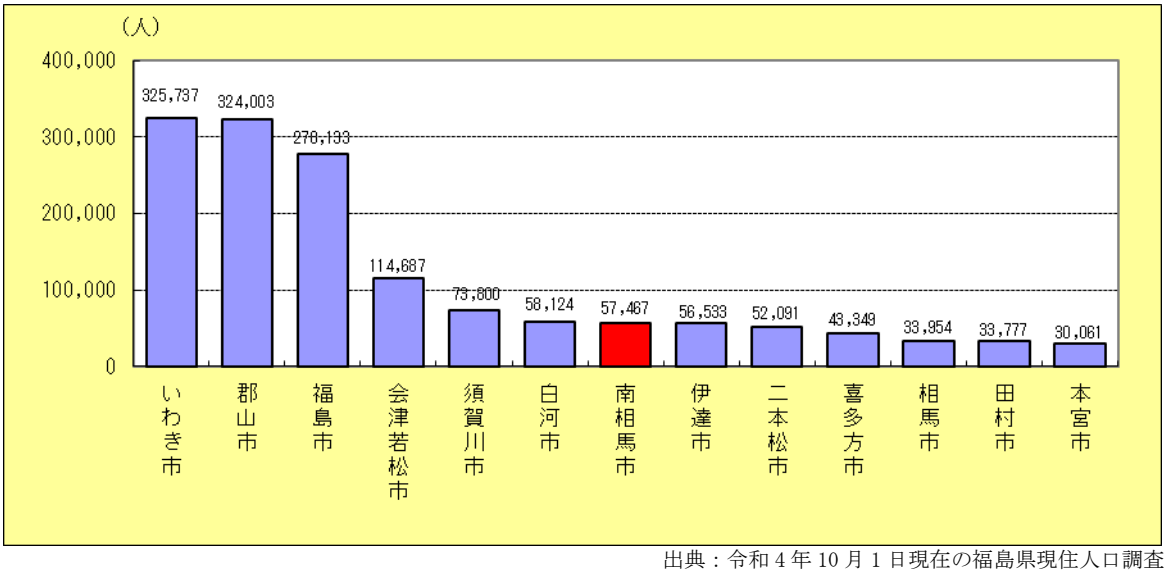
3　人口

（1）人口・世帯・１世帯当たり人員



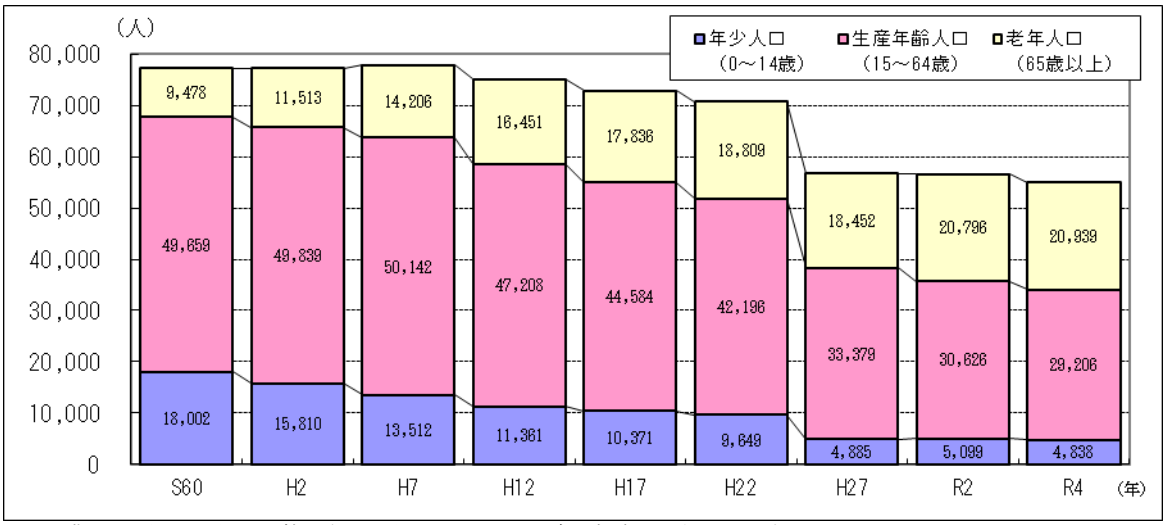
出典：S60 年～R2 年は国勢調査[1]　R4 年は 10 月 1 日現在の福島県現住人口調査
※H17 年以前は小高町・鹿島町・原町市の合算

（2）人口【13 市比較】／令和４年



出典：令和 4 年 10 月 1 日現在の福島県現住人口調査

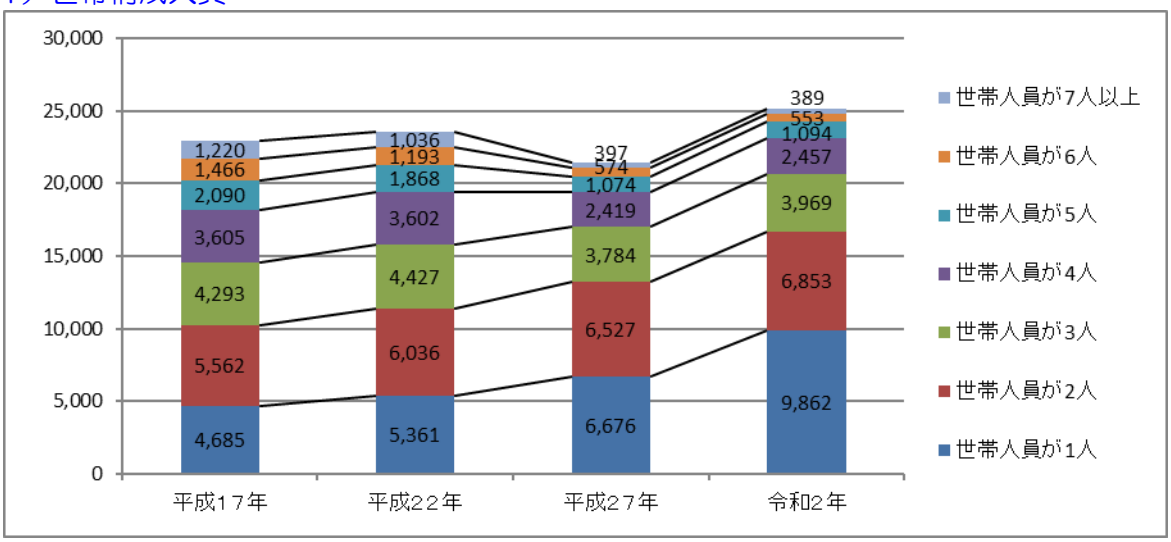
（3）年齢別人口



出典：S60 年～R2 年は国勢調査。R4 年は 10 月 1 日現在の福島県現住人口調査
※H17 以前は小高町・鹿島町・原町市の合算。総数が（1）と一致しないのは年齢不詳があるため

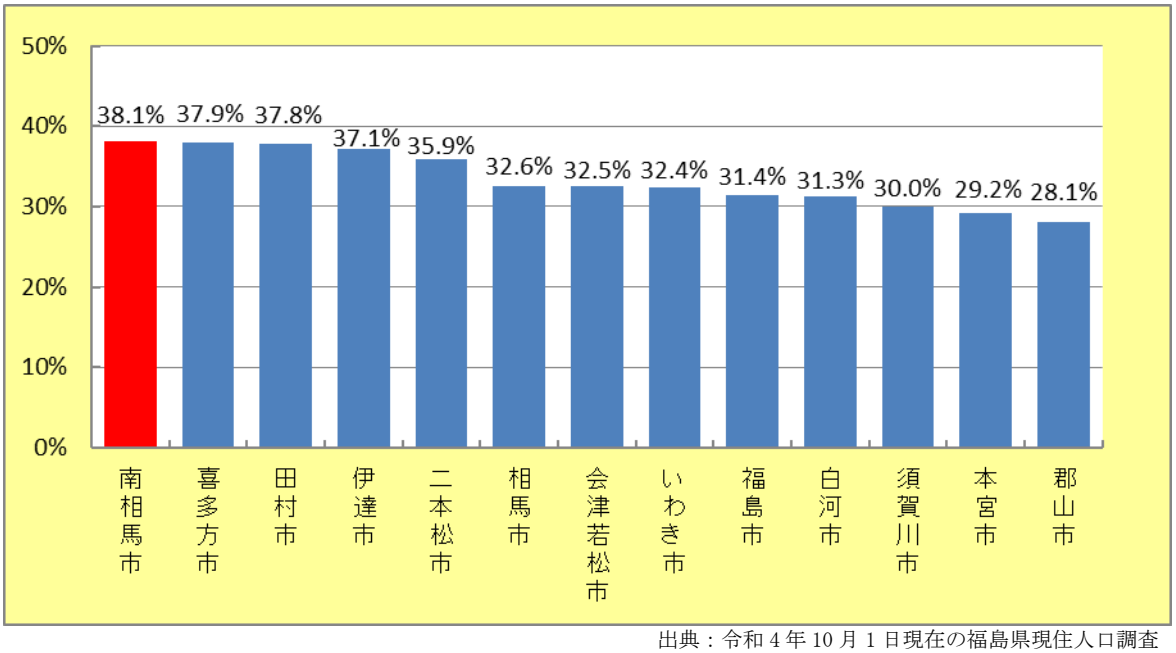
[1] 国勢調査：住民登録のない人、外国人も含め常住している全ての住民・世帯を対象として実施する 5 年ごとの調査。（各年 10 月 1 日現在）－総務省－

（4）世帯構成人員



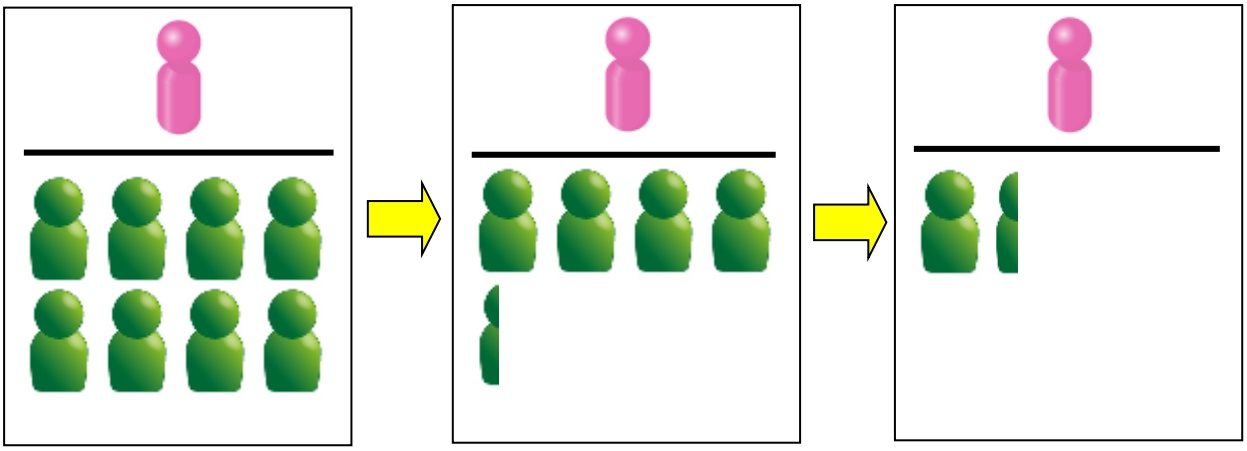
出典：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）※H17 年は小高町・鹿島町・原町市の合算

（5）高齢化率[2]【13 市比較】／令和４年



出典：令和 4 年 10 月 1 日現在の福島県現住人口調査
※年齢不詳を除く

（6）高齢者１人を支える生産年齢人口

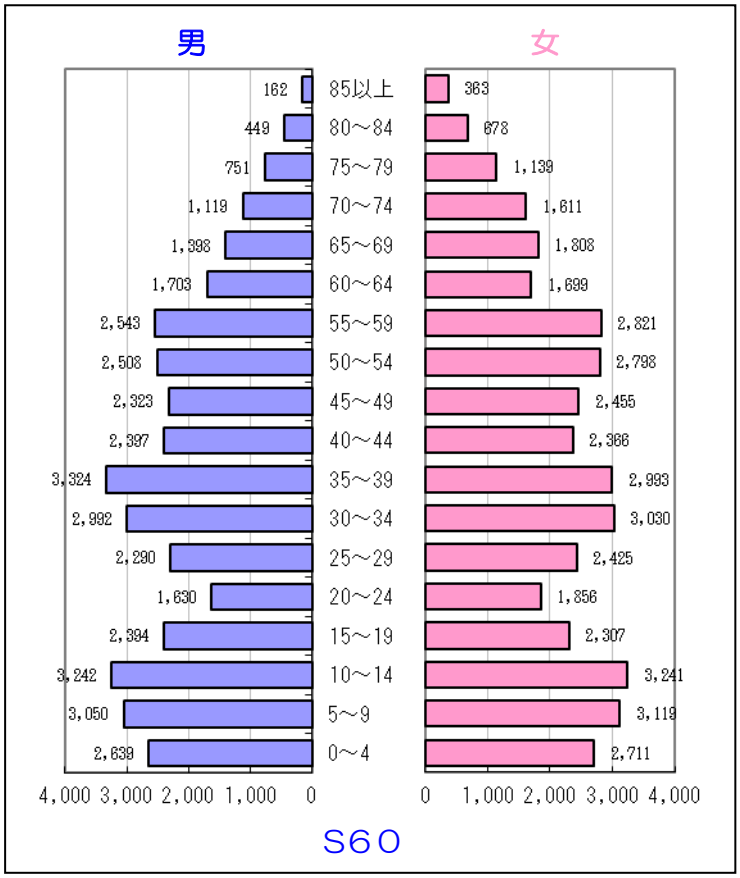


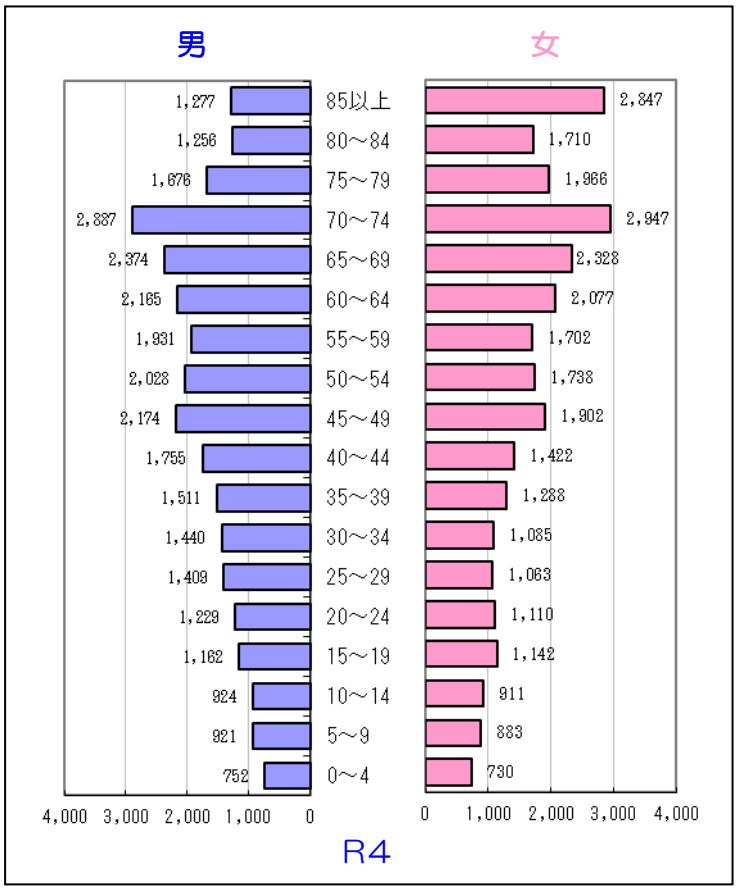
S45（8.0 人）　H2（4.3 人）　R4（1.4人）

出典：国勢調査（S45・H2）と福島県現住人口調査（R4）を基に計算

[2] 高齢化率：人口に占める 65 歳以上の割合

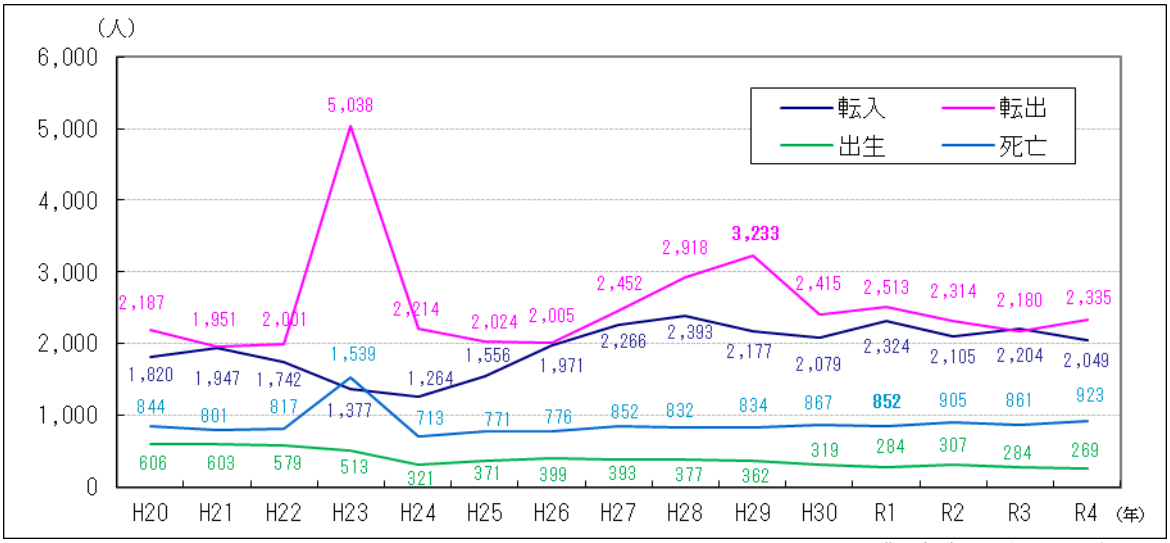
（7）人口構造





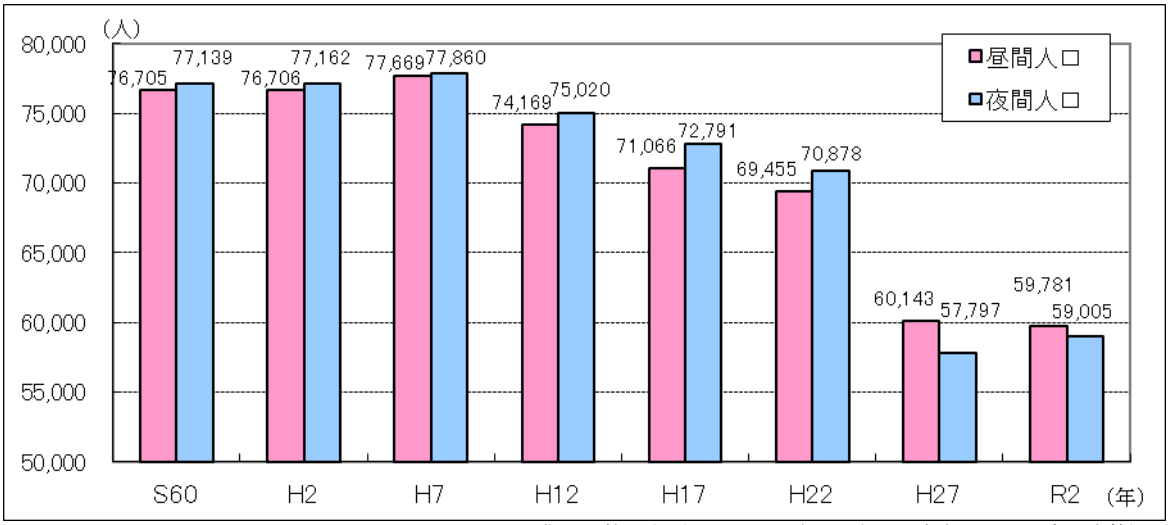
出典：S60 年は小高町・鹿島町・原町市の国勢調査結果を合算
R4 年は 10 月 31 日現在の南相馬市住民基本台帳

（8）人口動態



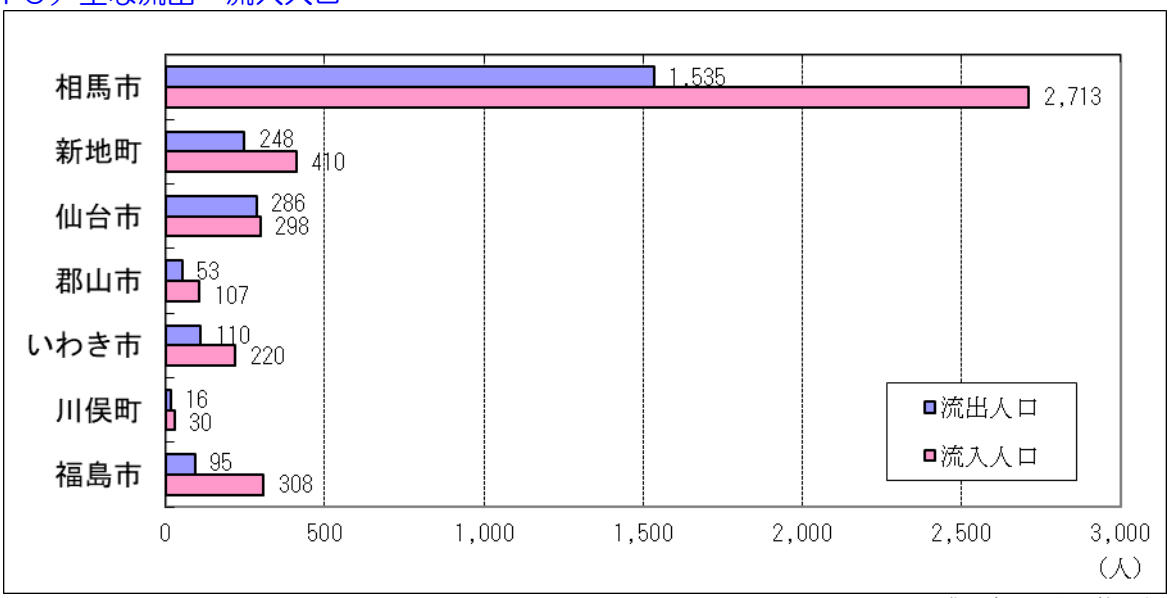
出典：福島県現住人口調査年報

（9）昼夜間人口



出典：国勢調査（※H17 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算）

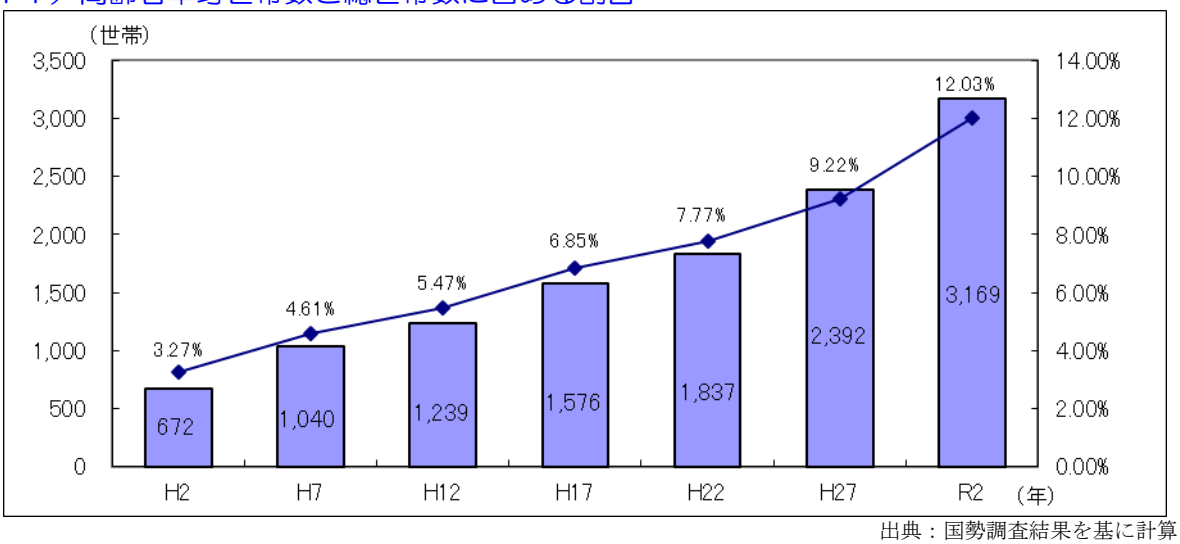
（１０）主な流出・流入人口[3]



出典：令和 2 年国勢調査

[3] 流出人口：当該区域から他の区域へ通勤・通学する人口。　流入人口：他の区域から当該区域へ通勤・通学する人口。

（１１）高齢者単身世帯数と総世帯数に占める割合



出典：国勢調査結果を基に計算
※H17 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

（１２）行政区別高齢化率

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
小高区	一区	505	190	37.62%
	二区	247	98	39.68%
	三区	385	162	42.08%
	四区	214	98	45.79%
	五区	289	142	49.13%
	小高	343	148	43.15%
	片草	362	151	41.71%
	吉名	312	132	42.31%
	岡田	425	193	45.41%
	川原田	**33**	**20**	**60.61%**
	大井	399	170	42.61%
	塚原	**174**	**94**	**54.02%**
	飯崎	443	182	41.08%
	角間沢	**67**	**42**	**62.69%**
	小谷	133	65	48.87%
	摩辰	81	39	48.15%
	南鳩原	**48**	**26**	**54.17%**
	北鳩原	**59**	**38**	**64.41%**
	羽倉	114	48	42.11%
	大富	**136**	**71**	**52.21%**
	金谷	173	83	47.98%
	川房	**189**	**96**	**50.79%**
	大田和	93	35	37.63%
	小屋木	240	104	43.33%
	女場	90	44	48.89%
	角部内	32	12	37.50%
	上蛯沢	**54**	**39**	**72.22%**
	下蛯沢	46	21	45.65%
	浦尻	151	71	47.02%
	下浦	**25**	**16**	**64.00%**
	行津	**40**	**21**	**52.50%**
	上浦	**83**	**48**	**57.83%**
	神山	75	36	48.00%
	上耳谷	118	52	44.07%
	下耳谷	**87**	**46**	**52.87%**
	泉沢	138	63	45.65%
	福岡	105	36	34.29%
	村上	28	11	39.29%
	井田川	49	21	42.86%

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
鹿島区	新町	586	174	29.69%
	1区	560	176	31.43%
	2区	309	140	45.31%
	3区	225	88	39.11%
	4区	518	153	29.54%
	台田中	293	128	43.69%
	北右田	**98**	**51**	**52.04%**
	上寺内	811	233	28.73%
	寺内	845	253	29.94%
	大谷地	**35**	**22**	**62.86%**
	江垂	275	111	40.36%
	塩崎	164	73	44.51%
	川子	114	47	41.23%
	大内	**165**	**85**	**51.52%**
	烏崎	82	30	36.59%
	小島田	**159**	**83**	**52.20%**
	三里	182	47	25.82%
	西川原団地	96	45	46.88%
	南屋形	279	102	36.56%
	北海老	373	153	41.02%
	南海老	**42**	**23**	**54.76%**
	北屋形	203	94	46.31%
	南柚木	229	98	42.79%
	永田	100	41	41.00%
	永渡	75	27	36.00%
	上栃窪	242	115	47.52%
	栃窪	162	66	40.74%
	御山	**71**	**40**	**56.34%**
	白坂	108	40	37.04%
	角川原	208	79	37.98%
	横手	312	115	36.86%
	山下	342	139	40.64%
	車川	61	28	45.90%
	浮田	327	138	42.20%
	岡和田	125	49	39.20%
	牛河内	52	23	44.23%
	小山田	181	76	41.99%
	小池	605	216	35.70%
	橲原	**93**	**57**	**61.29%**
	西町	303	107	35.31%

区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
原町区	国見町一	275	64	23.27%
	国見町二	541	154	28.47%
	国見町三	554	178	32.13%
	国見町団地一	404	183	45.30%
	国見町団地二	135	45	33.33%
	上町	942	292	31.00%
	西町	1,140	330	28.95%
	三島町一	499	148	29.66%
	三島町二	125	55	44.00%
	北町	1,640	506	30.85%
	小川町	1,225	434	35.43%
	本町三	144	52	36.11%
	本町二	210	75	35.71%
	本町一	**145**	**81**	**55.86%**
	南町一	201	91	45.27%
	南町二	320	139	43.44%
	南町三	413	138	33.41%
	南町四	357	115	32.21%
	本陣前一	696	209	30.03%
	本陣前二	754	246	32.63%
	本陣前三	1,132	348	30.74%
	橋本町三	399	133	33.33%
	橋本町四	417	140	33.57%
	橋本町一	309	123	39.81%
	橋本町二	496	179	36.09%
	栄町一	131	49	37.40%
	栄町二	133	56	42.11%
	栄町三	288	119	41.32%
	大町一	**120**	**66**	**55.00%**
	大町二	**503**	**254**	**50.50%**
	大町三	242	112	46.28%
	東町一	375	150	40.00%
	東町二	175	62	35.43%
	旭町一	232	92	39.66%
	旭町二	279	78	27.96%
	二見町一	354	128	36.16%
	二見町二	392	161	41.07%
	青葉町	542	213	39.30%
	錦町一	260	87	33.46%
	錦町二	326	85	26.07%
	桜井町一	531	187	35.22%
	桜井町二	505	206	40.79%
	高見町	1,055	372	35.26%
	日の出町	1,191	347	29.14%
	仲町一	**363**	**195**	**53.72%**
	仲町二	**504**	**267**	**52.98%**
	仲町三	406	136	33.50%
	上渋佐	1,227	352	28.69%

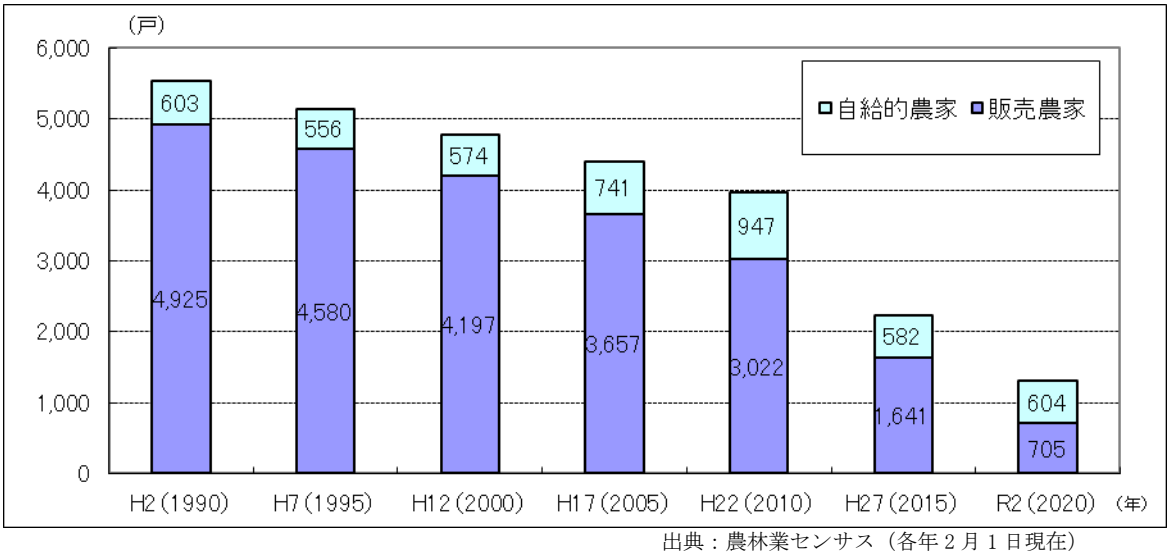
区	行政区名称	人口	高齢者人口	高齢化率
原町区	北萱浜	319	127	39.81%
	萱浜	213	69	32.39%
	北原	838	310	36.99%
	大甕上	174	71	40.80%
	大甕下	255	95	37.25%
	雫	528	182	34.47%
	小浜	61	28	45.90%
	江井	134	65	48.51%
	下江井	**46**	**23**	**50.00%**
	小沢	7	2	28.57%
	堤谷	66	29	43.94%
	小木迫	**35**	**22**	**62.86%**
	鶴谷	**118**	**64**	**54.24%**
	高一	171	82	47.95%
	高二	**98**	**53**	**54.08%**
	益田	158	67	42.41%
	下太田	317	110	34.70%
	牛来	447	175	39.15%
	中太田	461	151	32.75%
	陣ケ崎一	759	159	20.95%
	陣ケ崎二	331	104	31.42%
	上太田	226	91	40.27%
	矢川原	184	89	48.37%
	片倉	**41**	**22**	**53.66%**
	馬場	938	371	39.55%
	雲雀ケ原1	421	151	35.87%
	雲雀ケ原2	1,044	276	26.44%
	雲雀ケ原3	630	212	33.65%
	大木戸一	822	234	28.47%
	大木戸二	942	243	25.80%
	牛越	722	259	35.87%
	石神	464	135	29.09%
	押釜	329	117	35.56%
	高倉	200	85	42.50%
	大谷	74	36	48.65%
	大原	348	163	46.84%
	信田沢	317	146	46.06%
	深野	448	198	44.20%
	長野	252	117	46.43%
	北長野	693	231	33.33%
	北新田	284	104	36.62%
	上北高平一	370	135	36.49%
	上北高平三	463	212	45.79%
	上北高平二	194	85	43.81%
	上高平一	274	112	40.88%
	上高平二	353	123	34.84%
	下高平	137	59	43.07%
	下北高平	195	75	38.46%
	泉	273	101	37.00%
	北泉	97	44	45.36%
	金沢	324	96	29.63%

20%未満
20%以上40%未満
40%以上50%未満
50%以上

出典：令和４年９月 30 日現在の南相馬市住民基本台帳を基に計算

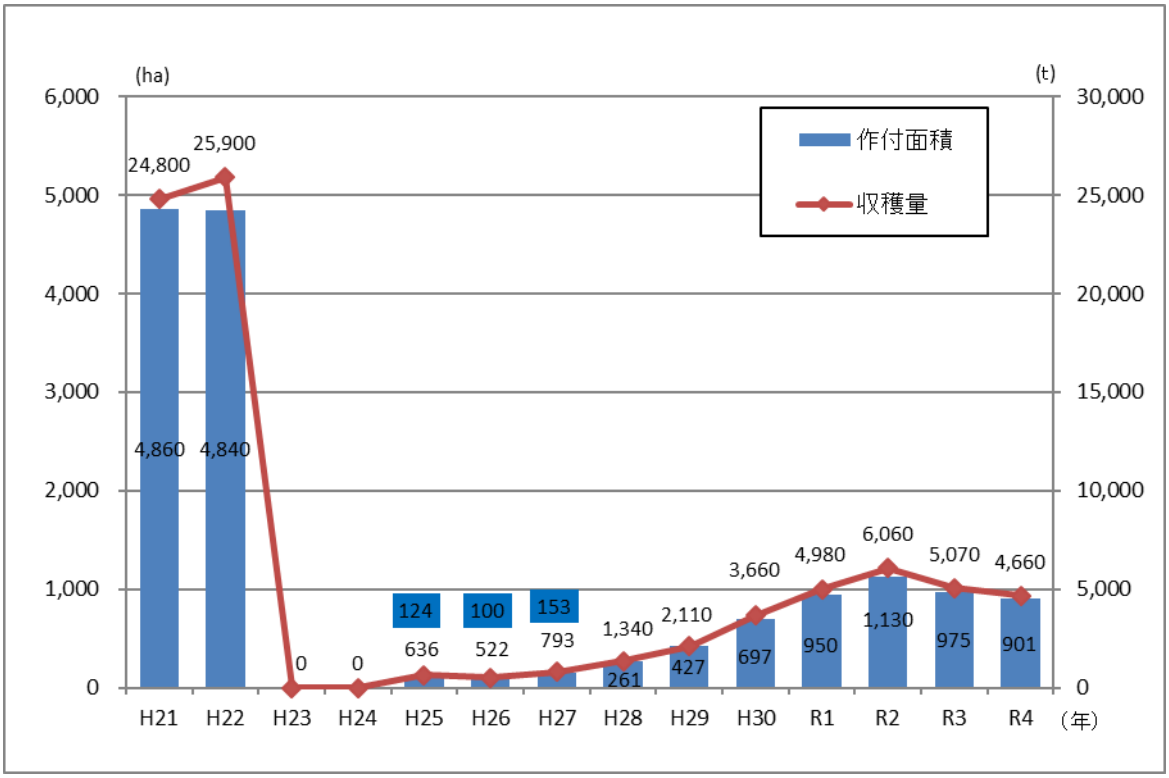
4　農林水産業

（1）農家数



出典：農林業センサス（各年２月１日現在）
※H17 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

（2）水稲作付面積[4]及び収穫量



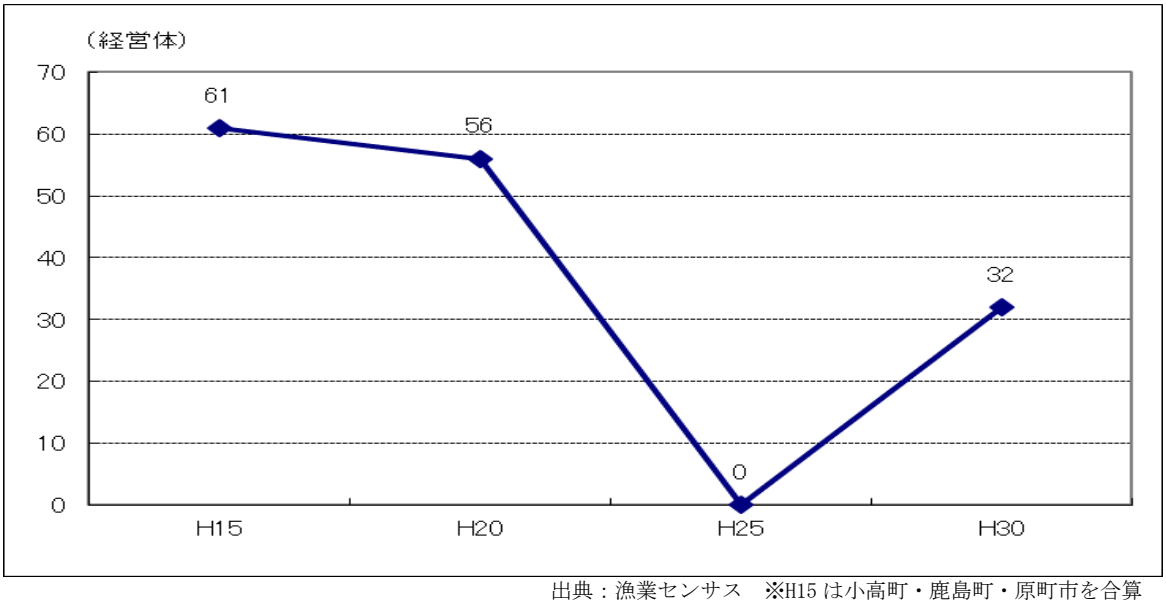
出典：農林水産省「作物統計[5]」（各年７月 15 日現在）

---

[4] 水稲作付面積：水稲、麦など、は種又は植え付けしてからおおむね１年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。（※青刈り面積（飼料用米等を含む）を除く）けい畔に作物を栽培している場合は、その利用部分を見積り作付面積として計上している。

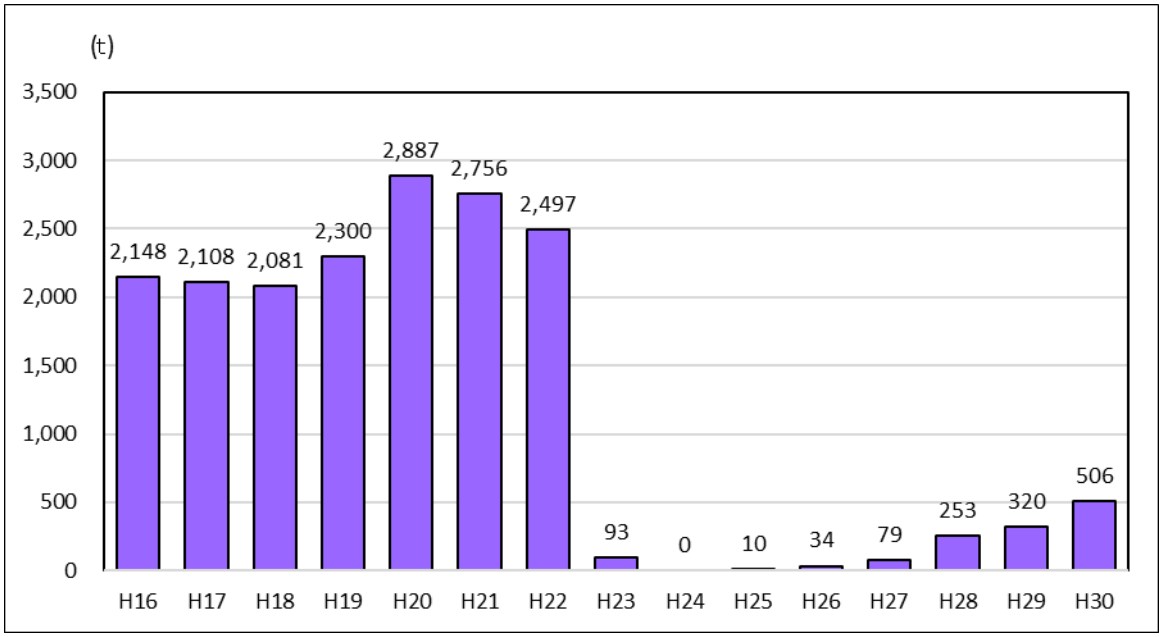
[5] 作物統計：市町村別データは、「作物統計調査」を実施する上で把握した地域における標本調査及び現地見積りの結果、関係機関からの情報等を踏まえ都道府県計値の内訳として市町村別に作成した加工統計であり、作成するうえで精度を設定しているものではない。

（3）漁業経営体[6]



出典：漁業センサス　※H15 は小高町・鹿島町・原町市を合算

（4）海面漁業漁獲量

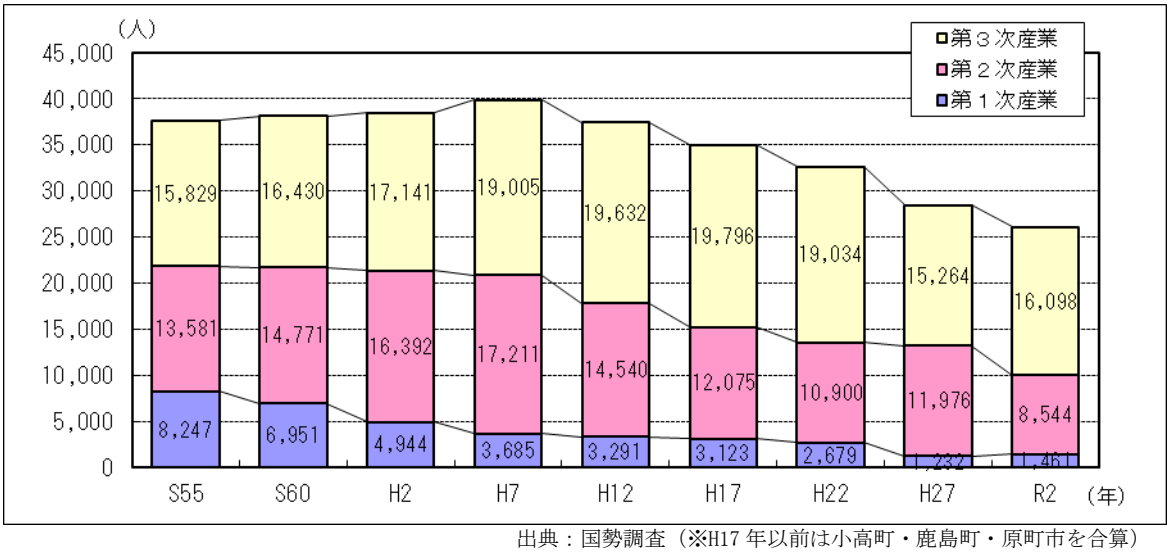


出典:農林水産省「海面漁業生産統計調査」(1 月 1 日～12 月 31 日)　※H17 以前は小高町･鹿島町･原町市を合算

[6] 漁業経営体：調査期日 1 年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所。ただし、過去 1 年間における漁業の海上作業従事日数が 30 日未満の個人経営体は除く。

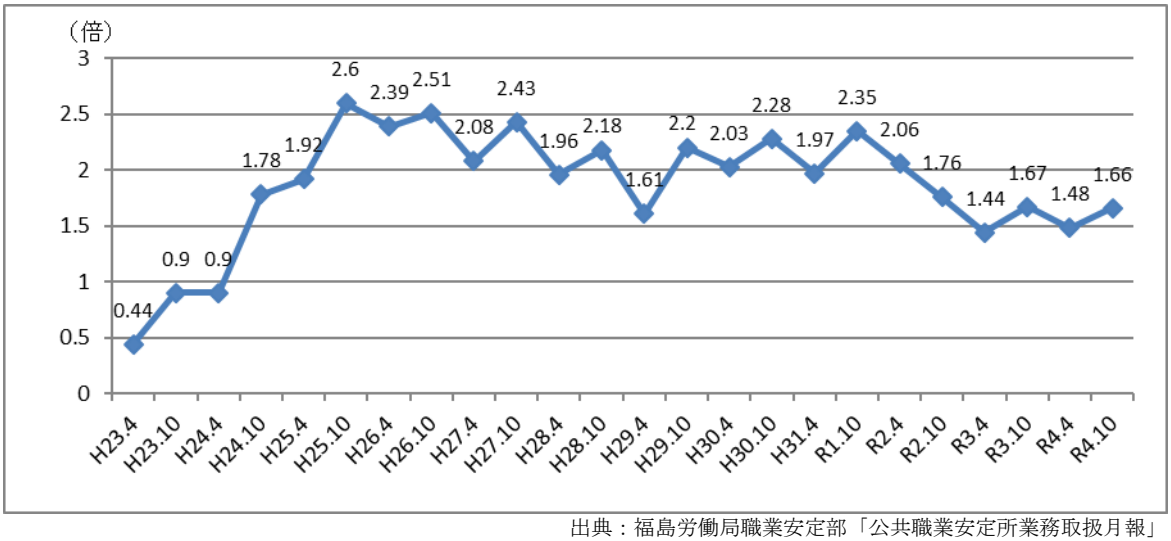
5　労働・商工業

（1）産業別就業者数



出典：国勢調査（※H17 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算）

（2）相双職業安定所有効求人倍率



出典：福島労働局職業安定部「公共職業安定所業務取扱月報」

（3）民営事業所数

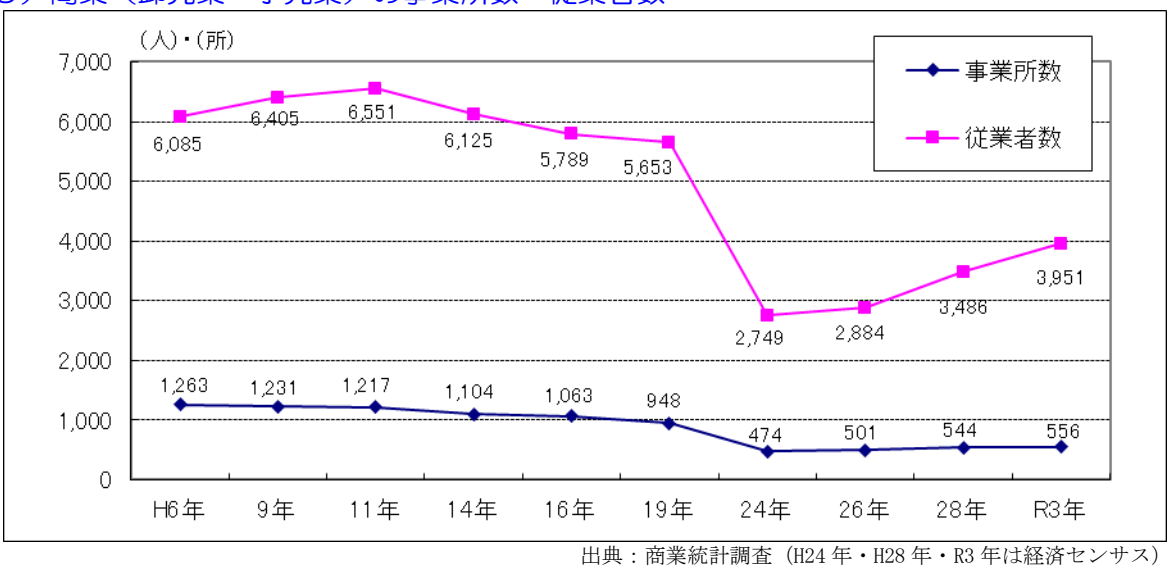
		H21	H24	H26	H28
A	農業，林業	31	12	16	16
B	漁業	4	2	2	1
C	鉱業，採石業，砂利採取業	3	1	3	2
D	建設業	399	278	324	345
E	製造業	360	222	263	251
F	電気・ガス・熱供給・水道業	5	5	7	7
G	情報通信業	20	15	18	18
H	運輸業，郵便業	68	39	46	54
I	卸売業，小売業	947	576	644	649
J	金融業，保険業	71	61	51	51
K	不動産業，物品賃貸業	198	154	170	172
L	学術研究，専門・技術サービス業	116	90	104	109
M	宿泊業，飲食サービス業	377	219	261	266
N	生活関連サービス業，娯楽業	363	242	250	250
O	教育，学習支援業	101	45	56	51
P	医療，福祉	198	152	182	188
Q	複合サービス事業	27	19	21	26
R	サービス業（他に分類されないもの）	237	165	192	193
	総数	3,594	2,467	2,610	2,649

（4）民営事業所従業者数

H21	H24	H26	H28
456	144	137	286
32	13	3	2
15	X	19	16
3,281	2,650	3,174	3,788
6,119	3,993	4,346	4,360
242	288	286	296
60	46	47	40
1,339	643	848	950
6,047	3,486	3,855	4,130
785	537	485	509
451	381	449	572
748	498	525	702
1,880	1,059	1,431	1,468
1,294	875	780	875
372	188	225	201
2,743	1,946	2,476	2,271
392	309	427	586
1,701	1,939	2,012	2,023
27,957	18,995	21,525	23,075

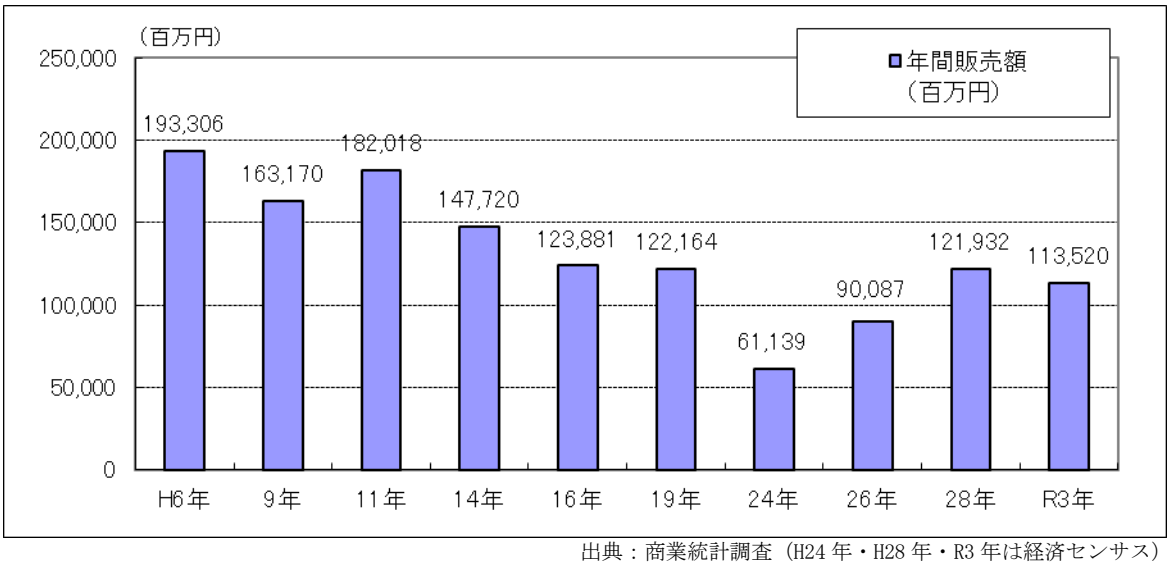
出典：経済センサス（各年６月１日現在）※分類不能があるため、分類の和と総計が一致しない
※H24 年は、震災による「警戒区域」及び「計画的避難区域」となった調査区に所在する事業所及び企業については除外している
H28 年以降は、R5.3 月時点数値なし

（5）商業（卸売業・小売業）の事業所数・従業者数



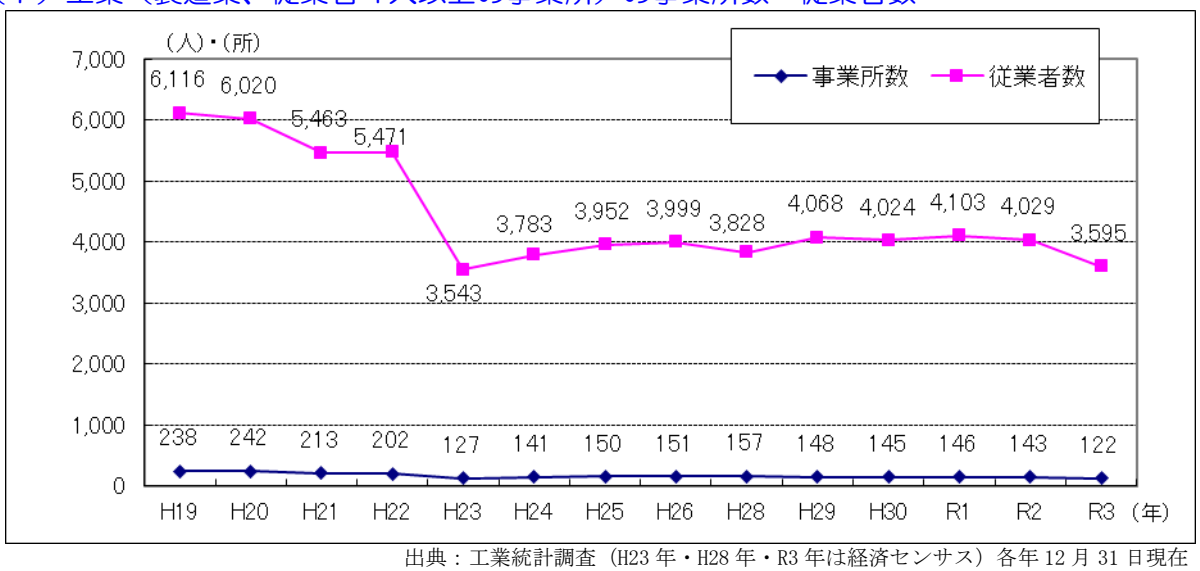
出典：商業統計調査（H24 年・H28 年・R3 年は経済センサス）
※H16 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算。

（6）商業（卸売業・小売業）の年間販売額



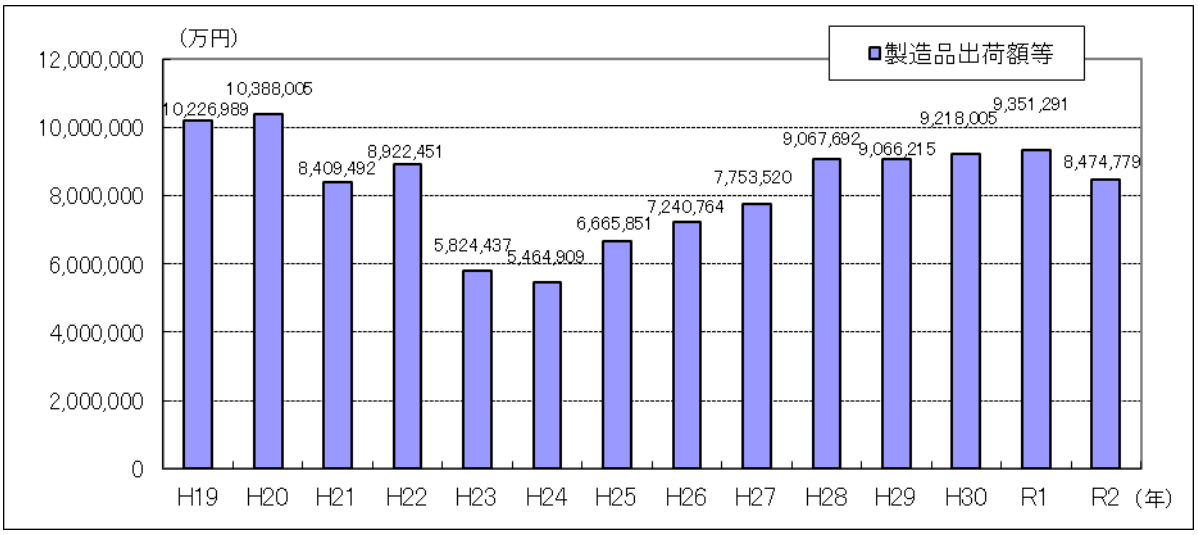
出典：商業統計調査（H24 年・H28 年・R3 年は経済センサス）
※H16 年以前は小高町・鹿島町・原町市を合算

（7）工業（製造業、従業者４人以上の事業所）の事業所数・従業者数



出典：工業統計調査（H23 年・H28 年・R3 年は経済センサス）各年 12 月 31 日現在
※H28 年～R2 年は 6 月 1 日現在（H23 年は 2 月 1 日現在）H27 年は統計なし

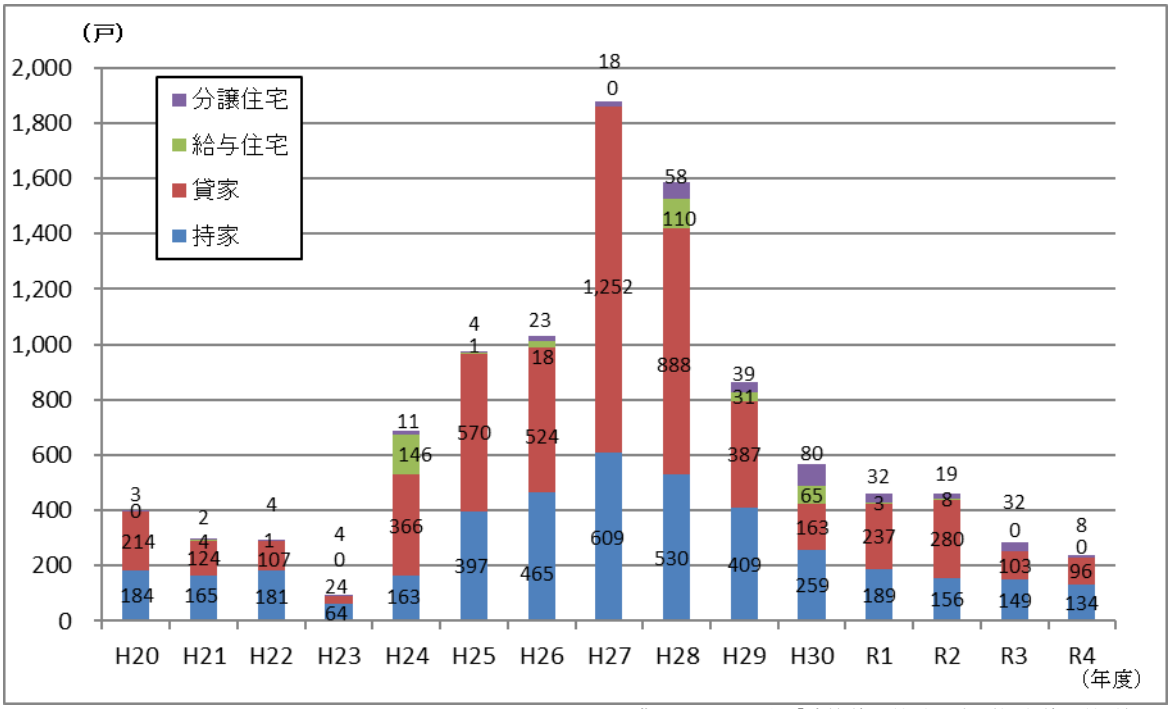
（８）工業（製造業、従業者４人以上の事業所）の製造品出荷額



出典：工業統計調査（H23 年・H27 年・R2 年は経済センサス）

6　住宅

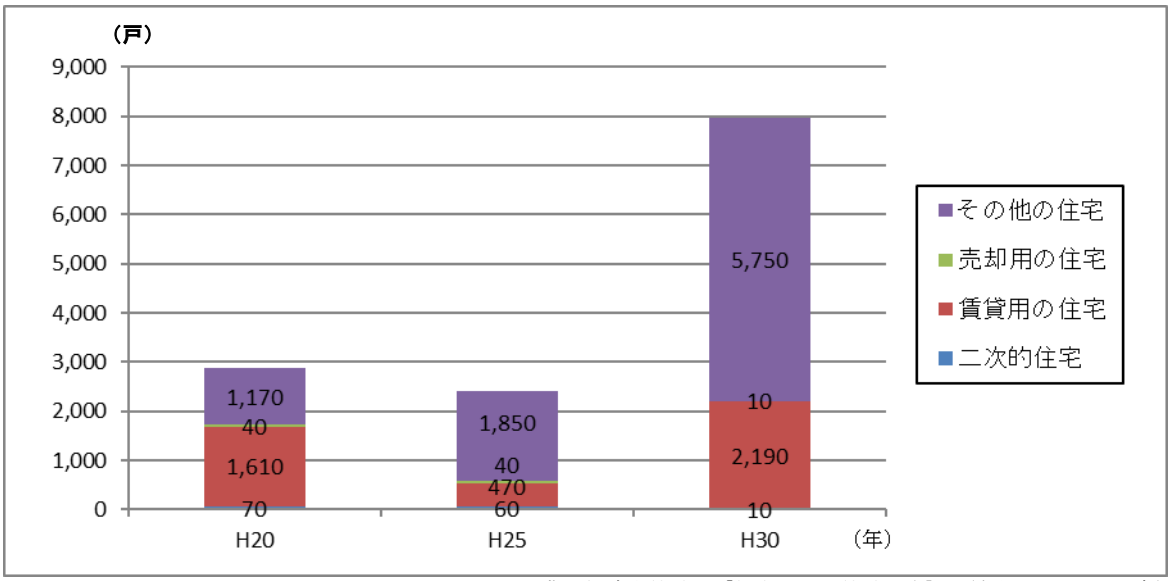
（1）利用関係別新設住宅



出典：国土交通省「建築着工統計調査（住宅着工統計）」

○持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの
○貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの
○給与住宅：会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの
○分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの

（2）空家の状況

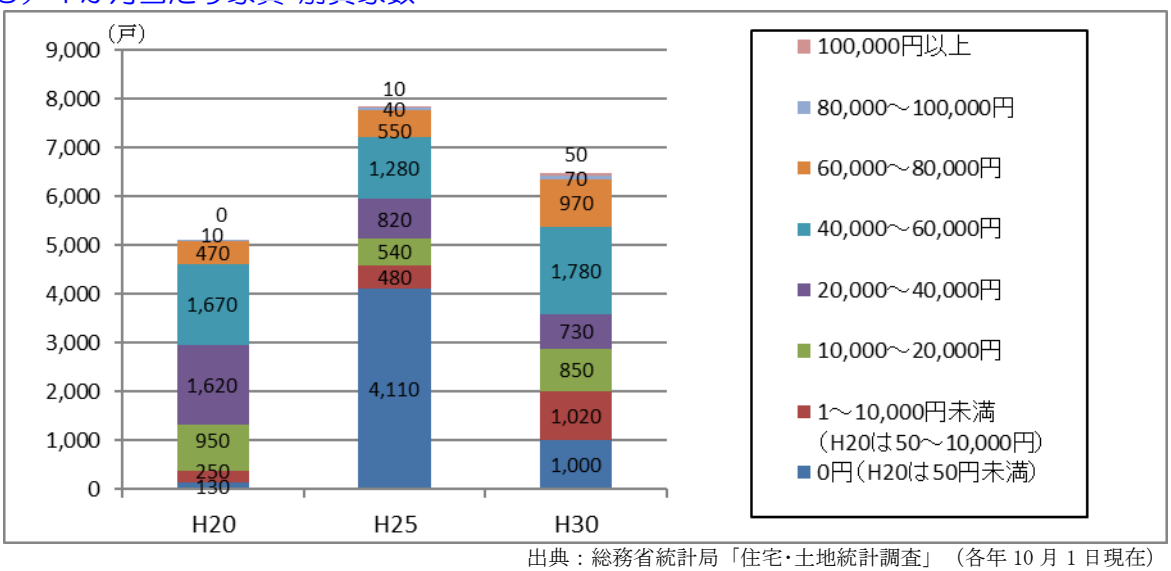


出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査[7]」（各年 10 月 1 日現在）

○二次的住宅：別荘、その他（ふだん住んでいる住宅とは別に、残業で遅くなった時に寝泊まりするなど、たまに寝泊まりしている人がいる住居）
○賃貸用の住宅：新築・中古を問わず、賃貸のために空家になっている住宅
○売却用の住宅：新築・中古を問わず、売却のために空家になっている住宅
○その他の住宅：上記以外の人が住んでいない住宅で、例えば転勤・入院などのため移住世帯が長期にわたって不在の住宅建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など（注：空家の区分の判断が困難な住宅を含む）

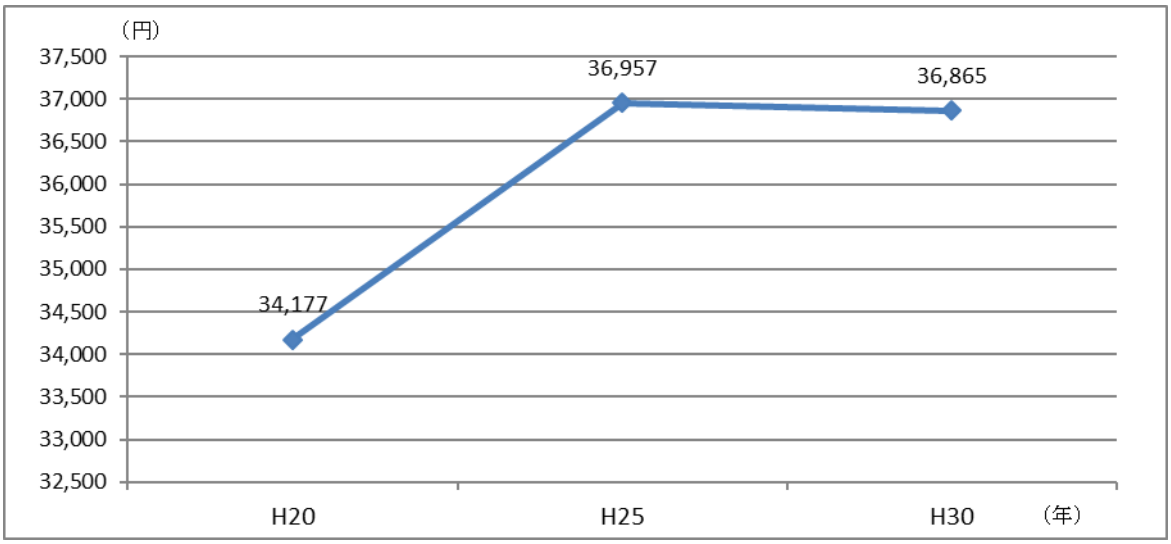
[7] 南相馬市の場合、概ね１／３の調査区を抽出して推計する調査。H25 は避難指示区域の抽出に含まれない。

（3）１か月当たり家賃[8]別貸家数



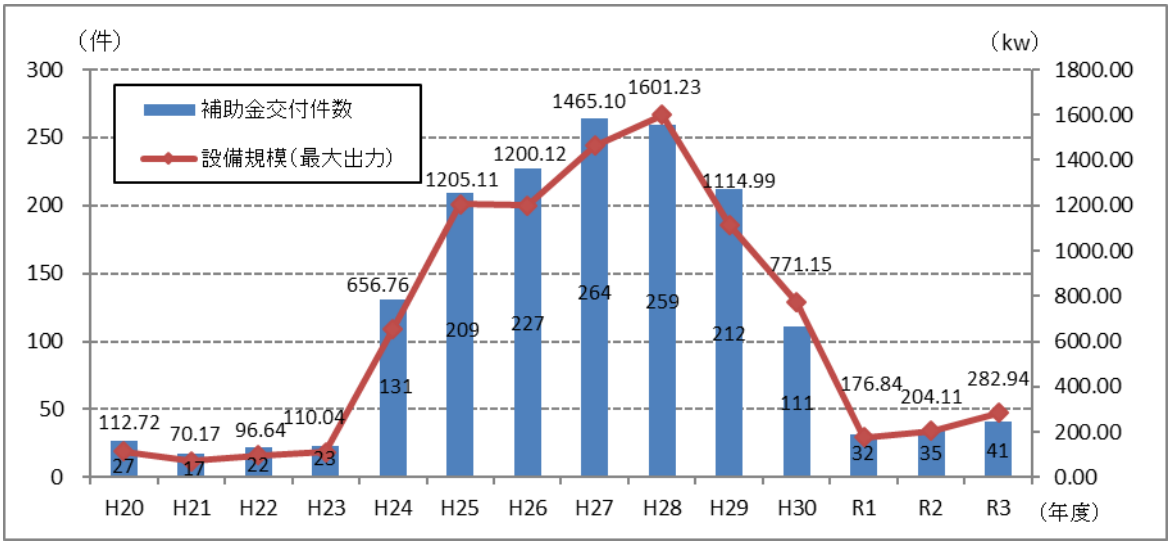
出典：総務省統計局「住宅･土地統計調査」（各年 10 月 1 日現在）

（4）１か月当たり平均家賃



出典：総務省統計局「住宅･土地統計調査」（各年 10 月 1 日現在）
※家賃 0 円を含まない。H20 年は家賃 50 円未満を含まない。

（5）住宅用太陽光発電導入促進事業実績

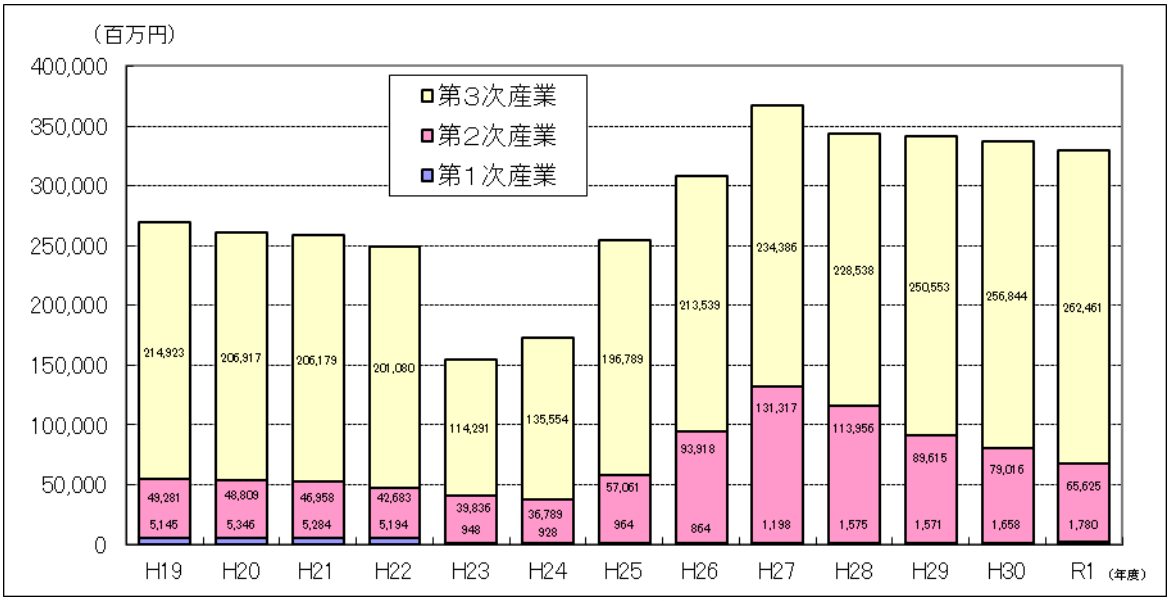


出典：南相馬市生活環境課「業務資料」

[8] 家賃：持ち家以外に居住する普通世帯が，最近，支払った１か月分の家賃

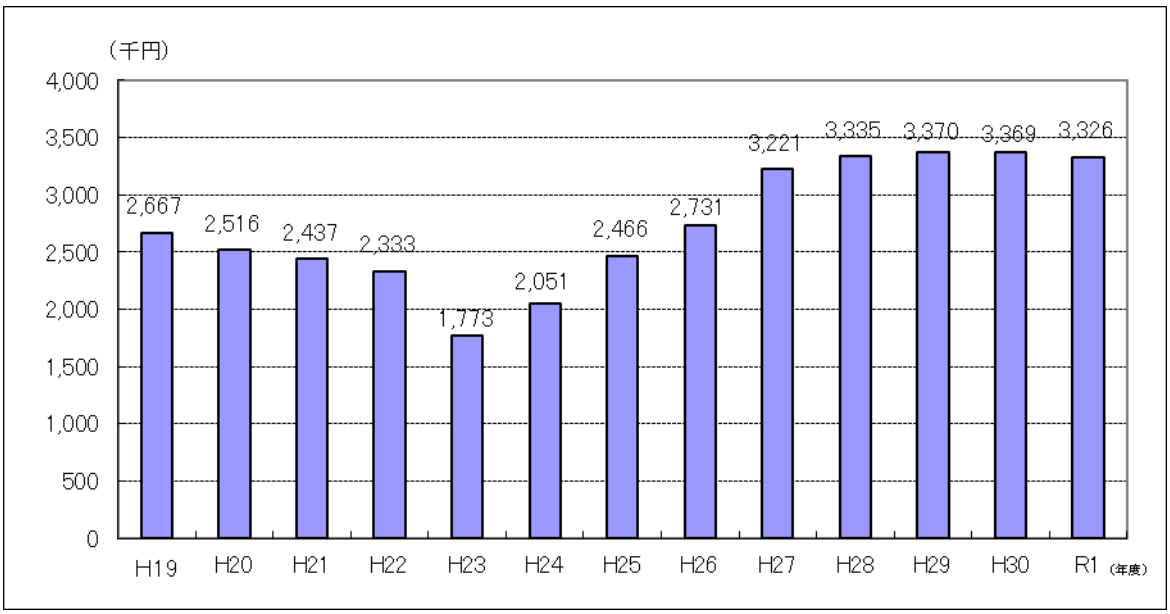
7　所得・物価

（1）市内総生産額



出典：福島県統計課「令和元（2019）年度福島県市町村民経済計算年報」から抜粋
※経済活動別内訳には輸入品に課される税･関税等が含まれないため
第１次産業～第３次産業の計は市町村内総生産と一致しない

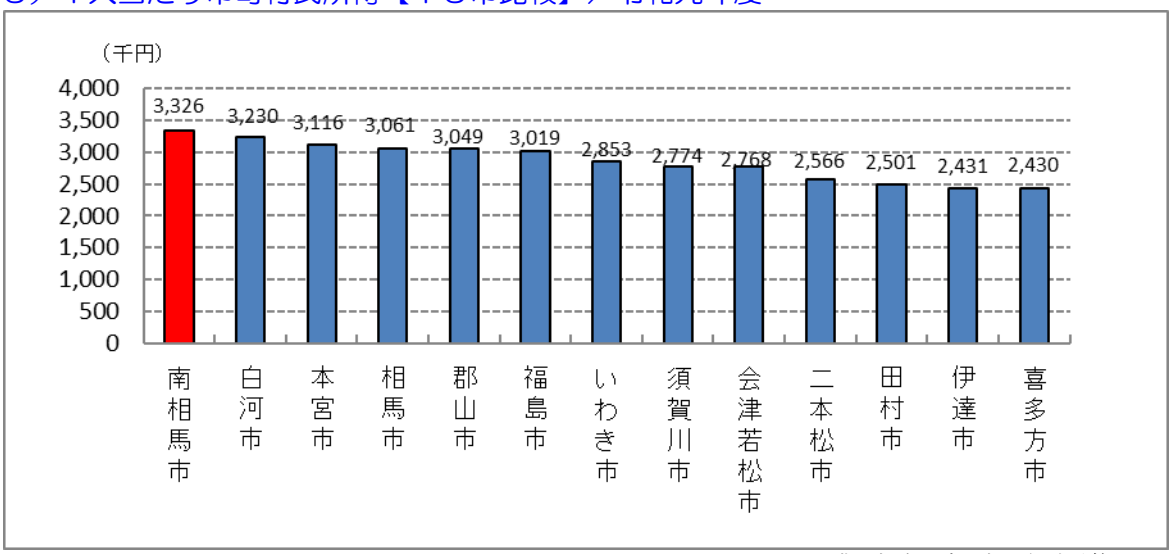
（2）１人当たり市町村民所得[9]



出典：福島県市町村民経済計算年報

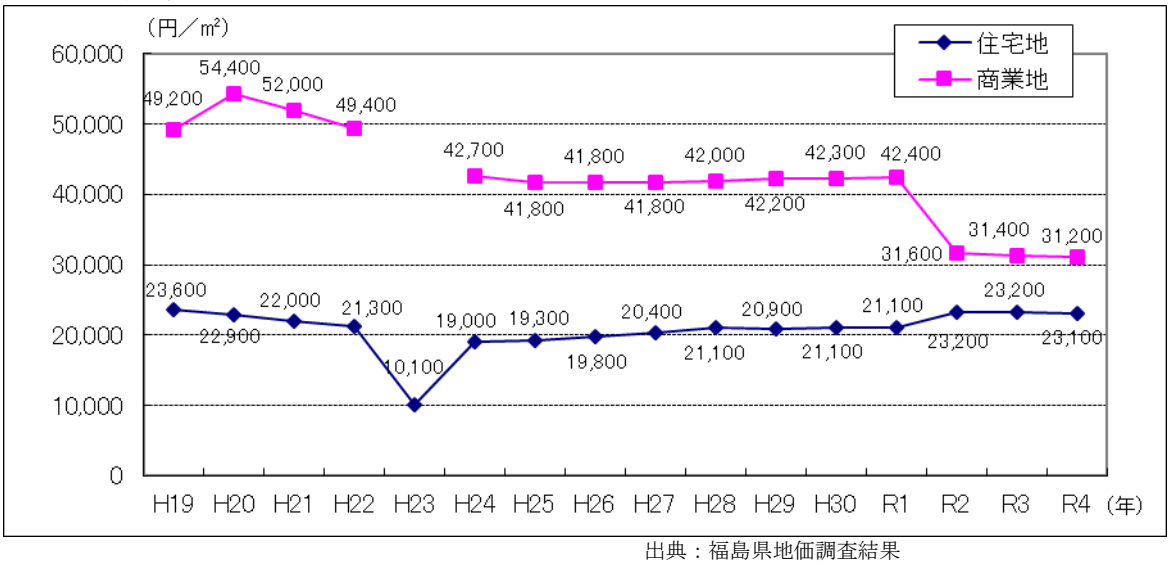
[9] １人当たり市町村民所得：市町村民所得は、生産活動で生み出された付加価値を、生産活動に参加した経済主体に分配したもので、市町村民雇用者報酬、財産所得、企業所得からなります。１人当たり市町村民所得は、市町村民所得をその年の 10 月 1 日現在の総人口で割ったものです。市町村民所得の「所得」は、一般的に使われる意味での「所得」とはやや異なります。１人当たり市町村民所得は、企業の利益なども含めた市町村民経済全体の所得水準を表しており、個人の給与や実収入の平均値ではありません。

（３）１人当たり市町村民所得【１３市比較】／令和元年度



出典：福島県市町村民経済計算年報

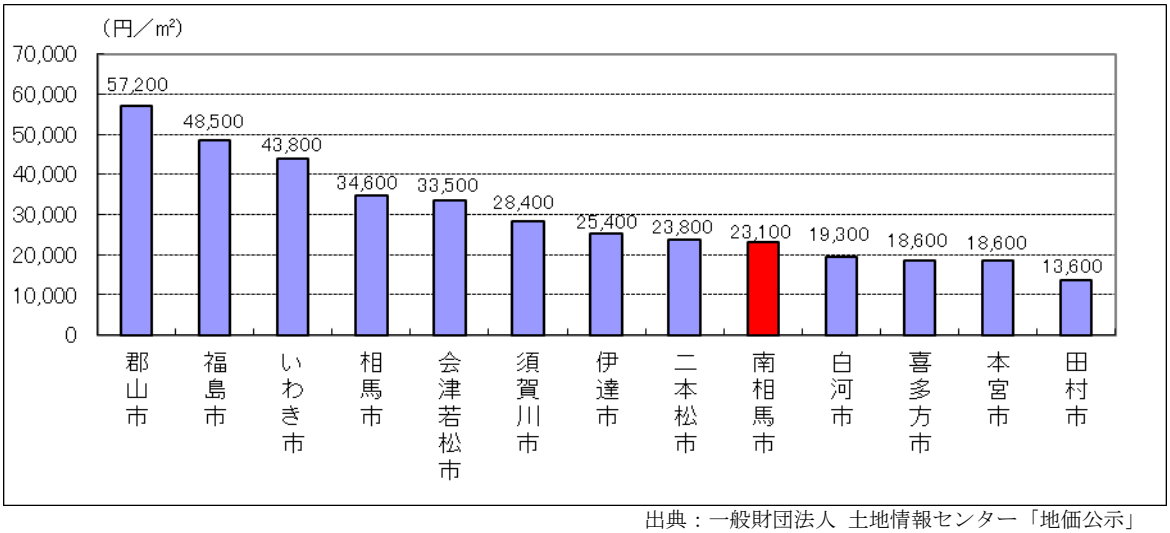
（４）土地標準価格（平均価格）[10]



出典：福島県地価調査結果
一般財団法人 土地情報センター「地価公示」

※H23 は、原子力発電所事故による警戒区域、計画的避難区域及び緊急時避難準備区域を対象から除外
（H23 商業地は、平均価格なし）
※H24 は、原子力発電所事故による警戒区域、計画的避難区域、避難指示解除準備区域及び居住制限区域を対象から除外
※H25～29 は、原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域を対象から除外

（５）住宅地標準価格（平均価格）【１３市比較】／令和４年

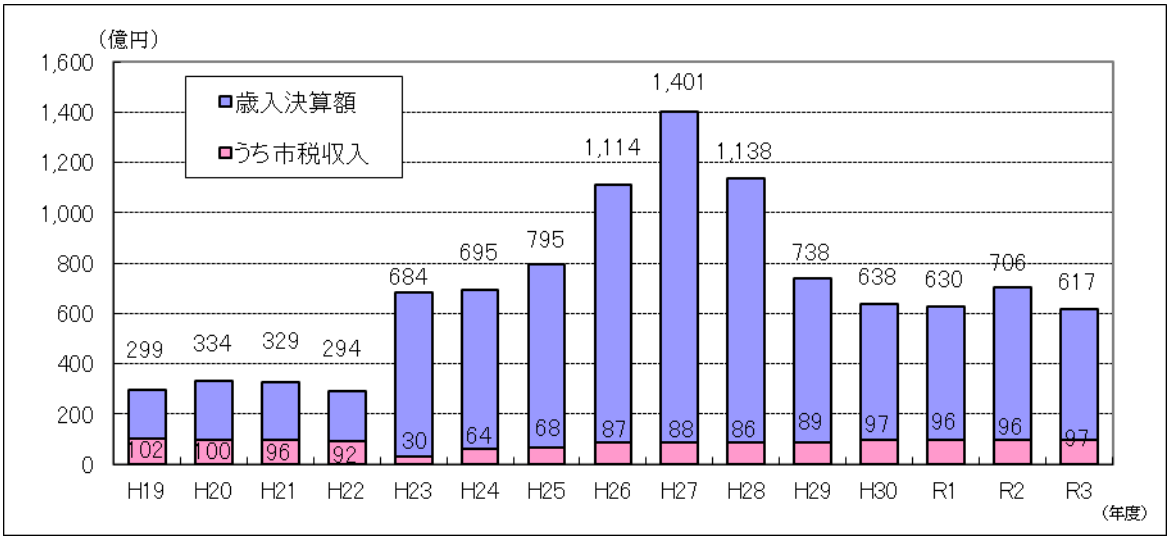


出典：一般財団法人 土地情報センター「地価公示」

[10]標準価格（平均価格）：用途別の基準地の平均価格であり、基準地ごとの１㎡当たりの価格の合計を当該基準地点で除して求めたもの。

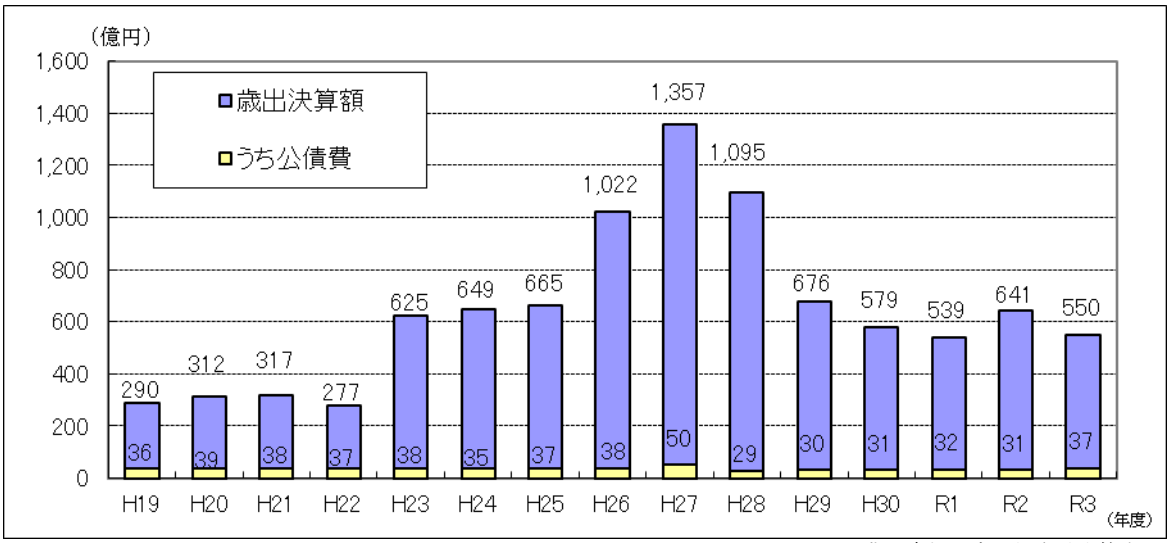
8　行財政

（1）歳入決算額と市税収入



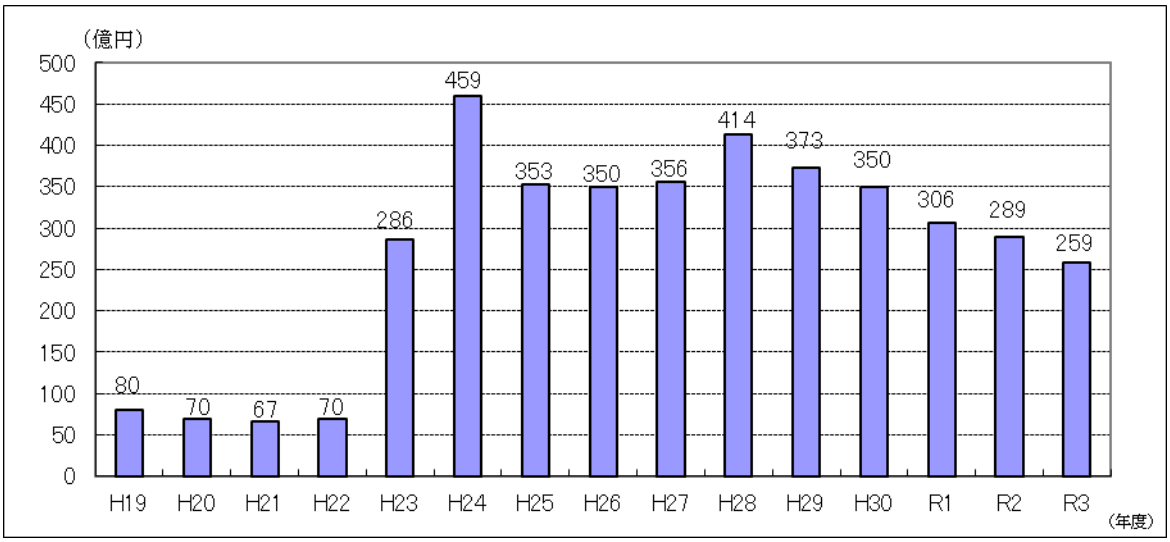
出典：南相馬市一般会計決算書

（2）歳出決算額と公債費



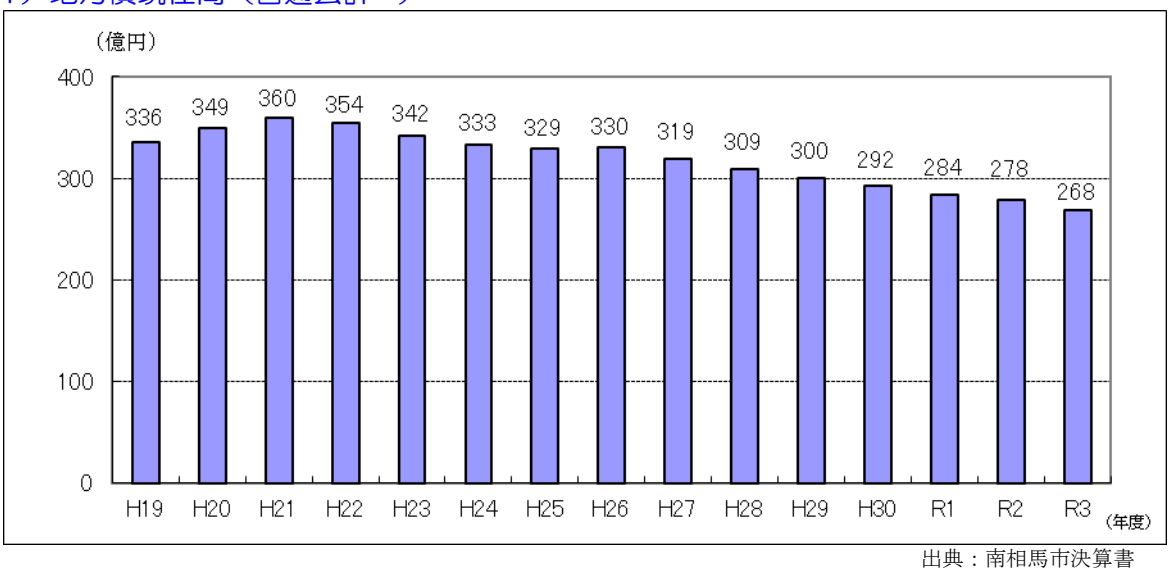
出典：南相馬市一般会計決算書

（3）積立基金現在高



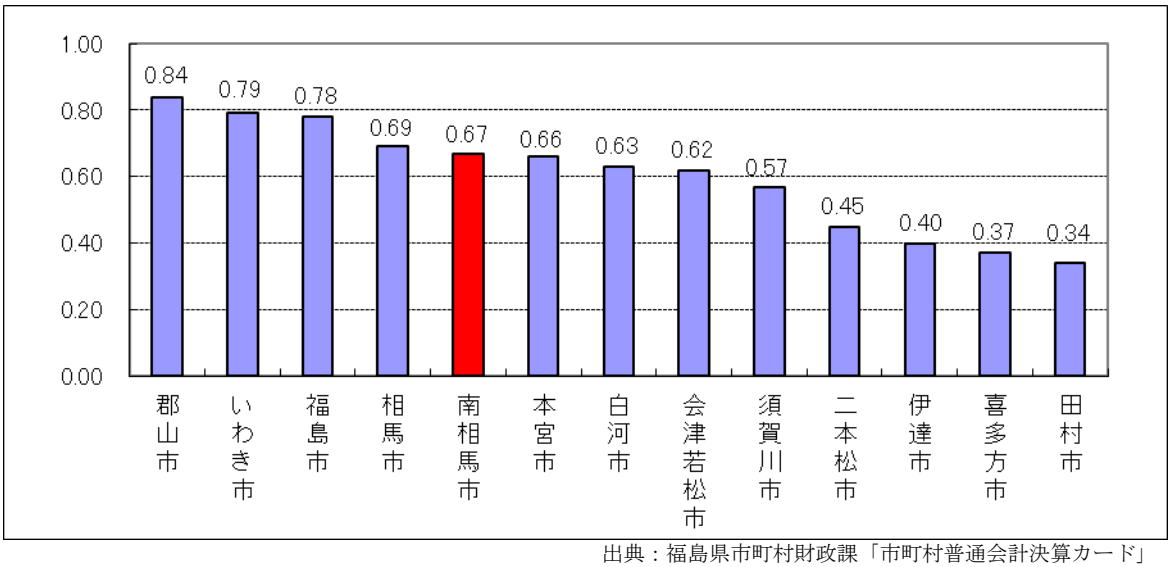
出典：南相馬市決算書

（4）地方債現在高（普通会計[11]）



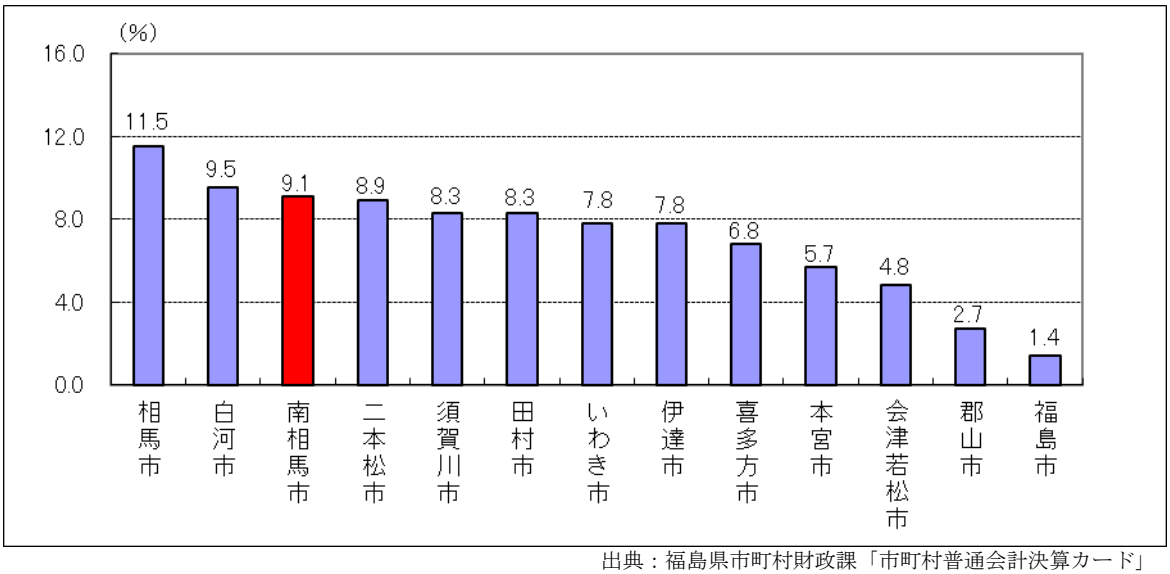
出典：南相馬市決算書

（5）財政力指数[12]【13 市比較】／令和３年度



出典：福島県市町村財政課「市町村普通会計決算カード」

（6）実質公債費比率[13]【13 市比較】／令和３年度

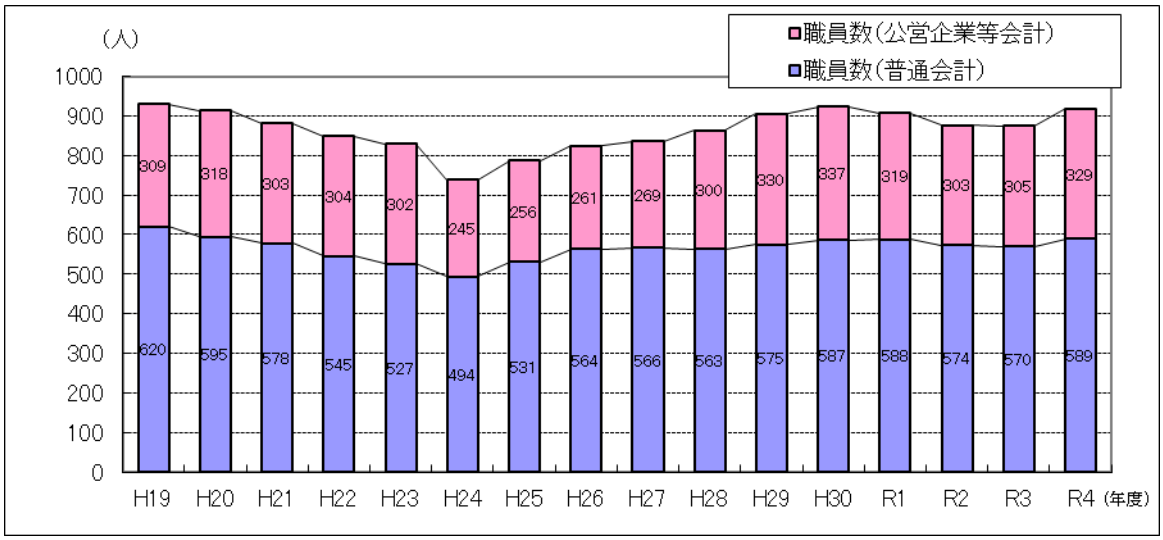


出典：福島県市町村財政課「市町村普通会計決算カード」

---

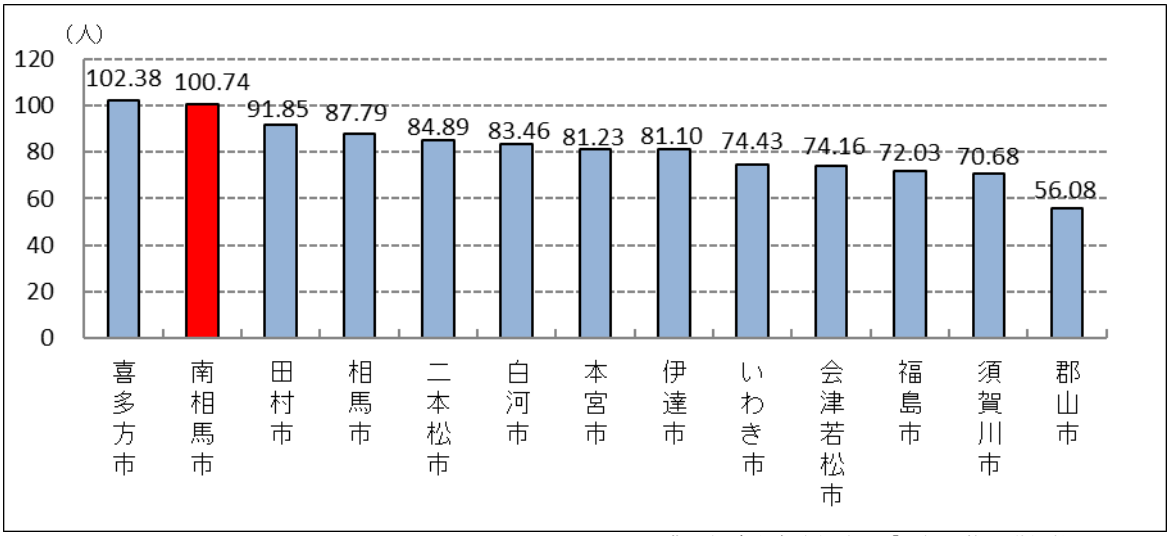
11 普通会計：地方公共団体における公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計にまとめたもの
12 財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値
13 実質公債費比率：公債費がどの程度財政を圧迫しているかを示すもので、公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に占める割合

（７）職員数



出典：総務省「地方公共団体定員管理調査」（各年４月１日現在）※再任用職員･任期付職員を含む

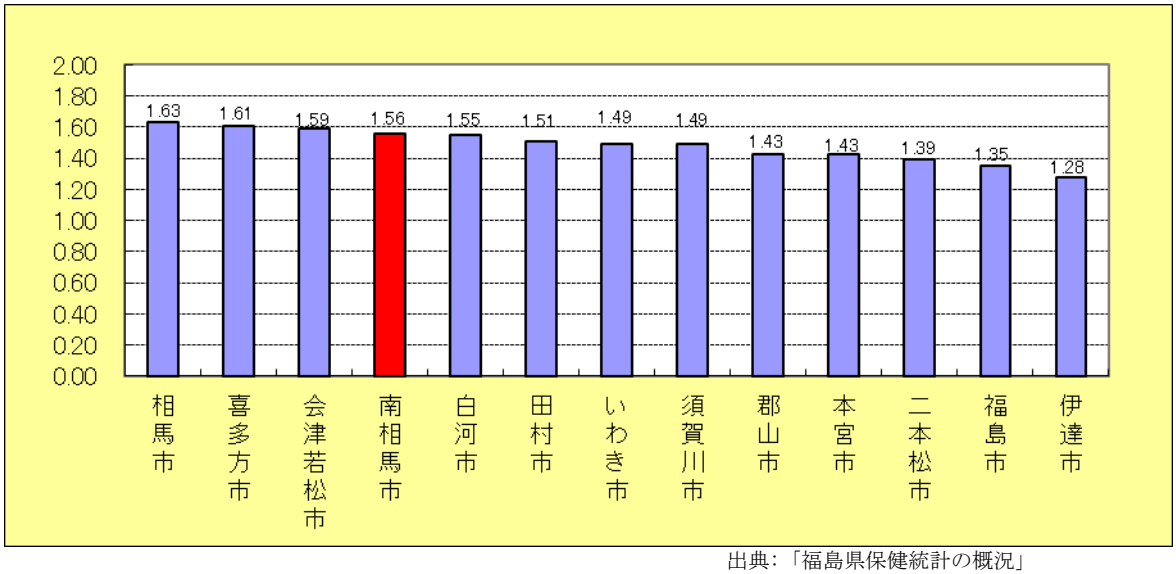
（８）人口１万人当たりの職員数（普通会計）【13 市比較】／令和４年４月１日現在



出典：総務省自治行政局「類似団体別職員数の状況」

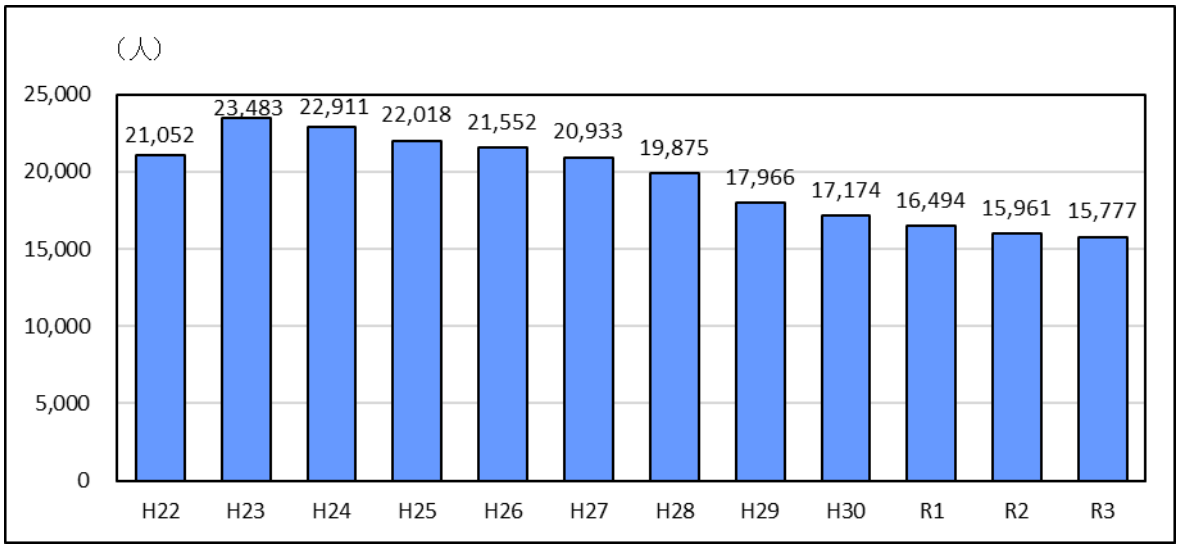
9　福祉・健康

（1）合計特殊出生率【１３市比較】／平成２０～２４年



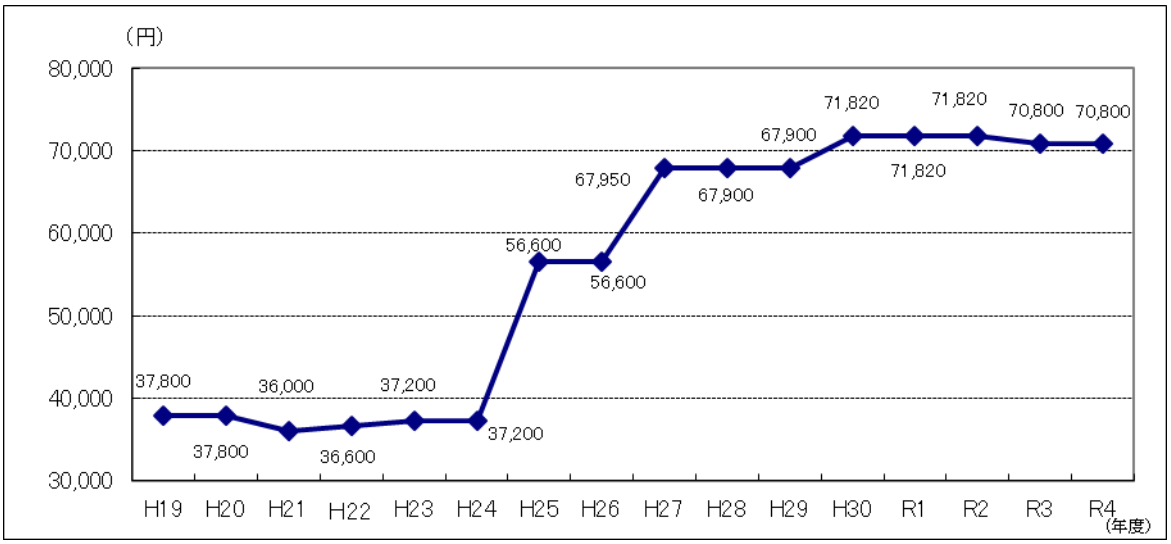
出典:「福島県保健統計の概況」
※H24 年以降は、R5.3 月時点数値なし

（2）国民健康保険被保険者数



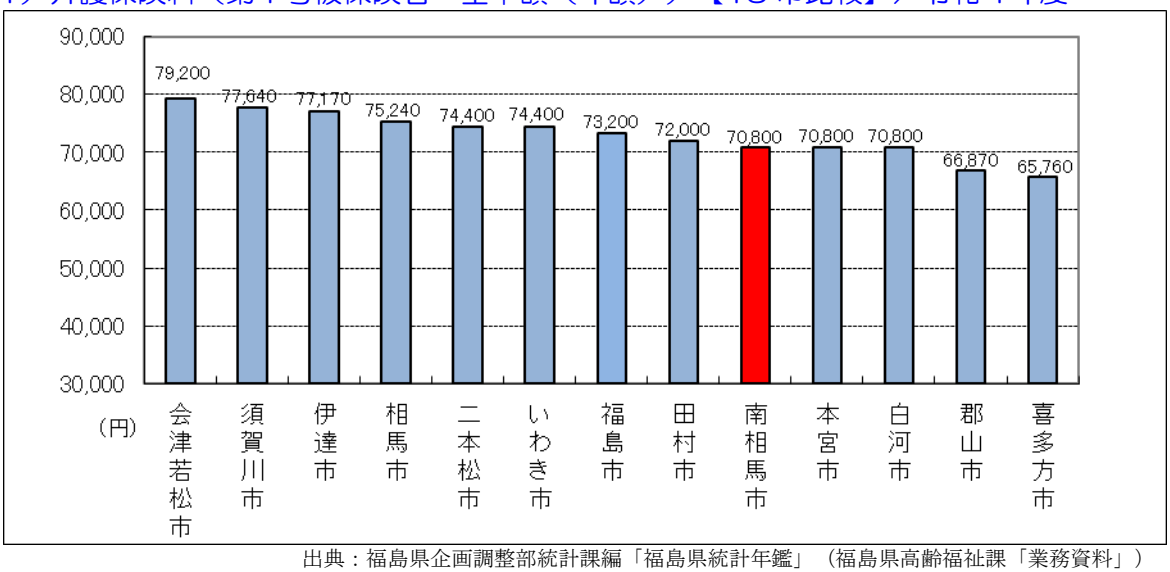
出典：厚生労働省「国民健康保険実態調査」（各年９月末現在）

（3）介護保険料（第１号被保険者・基準額（年額））



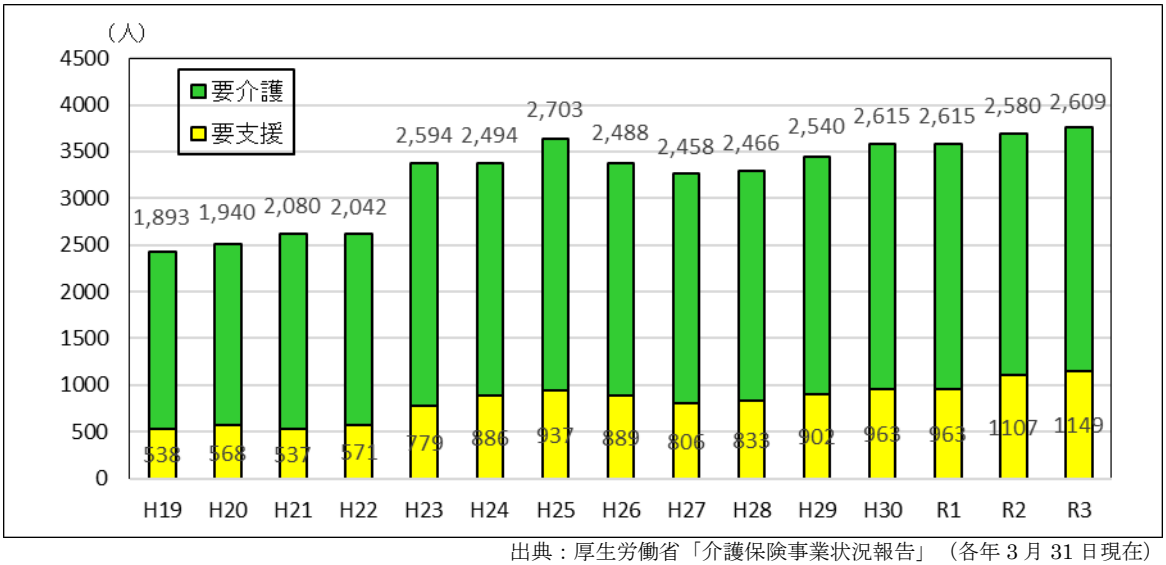
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県高齢福祉課「業務資料」）
※H24 は、震災の影響により前期計画保険料に暫定的に据え置いている

（4）介護保険料（第１号被保険者・基準額（年額））【13 市比較】／令和４年度



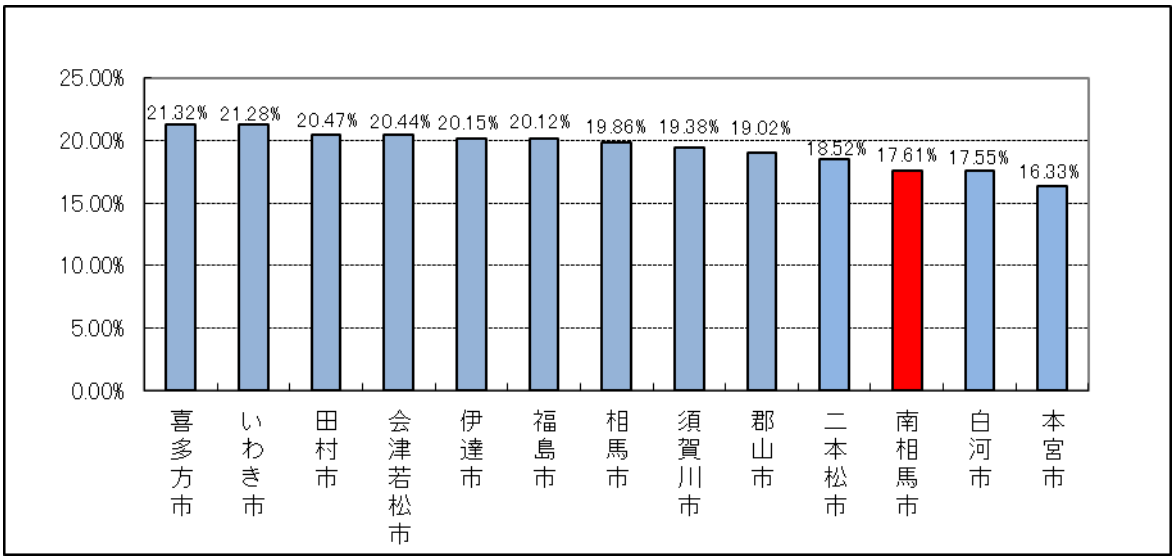
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県高齢福祉課「業務資料」）

（5）要介護等認定者数



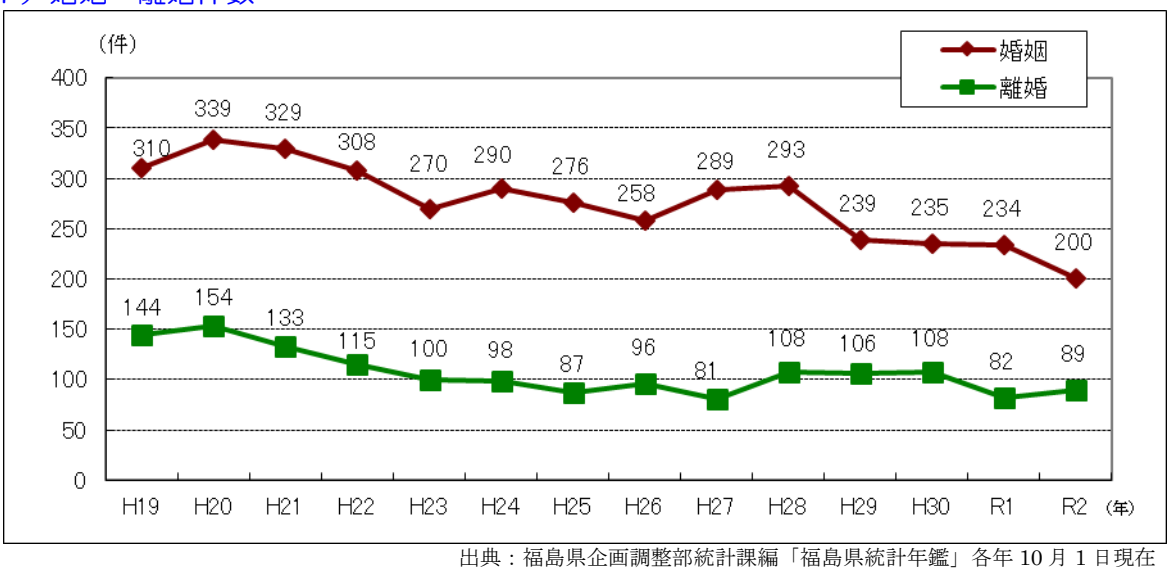
出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年 3 月 31 日現在）

（6）要介護認定率【１３市比較】／令和３年３月 31 日現在



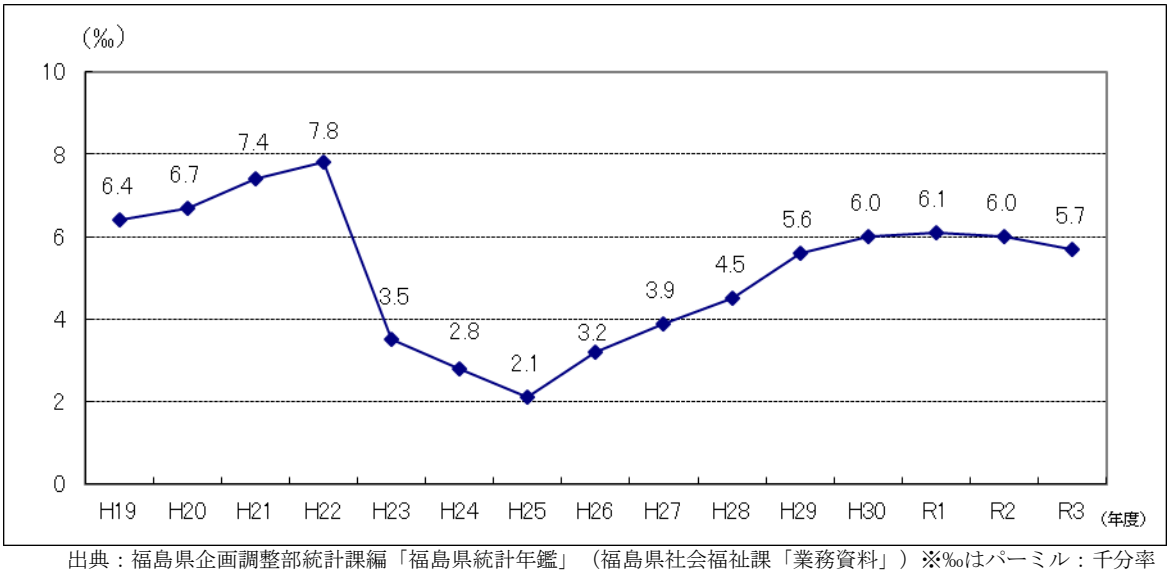
出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」

（7）婚姻・離婚件数



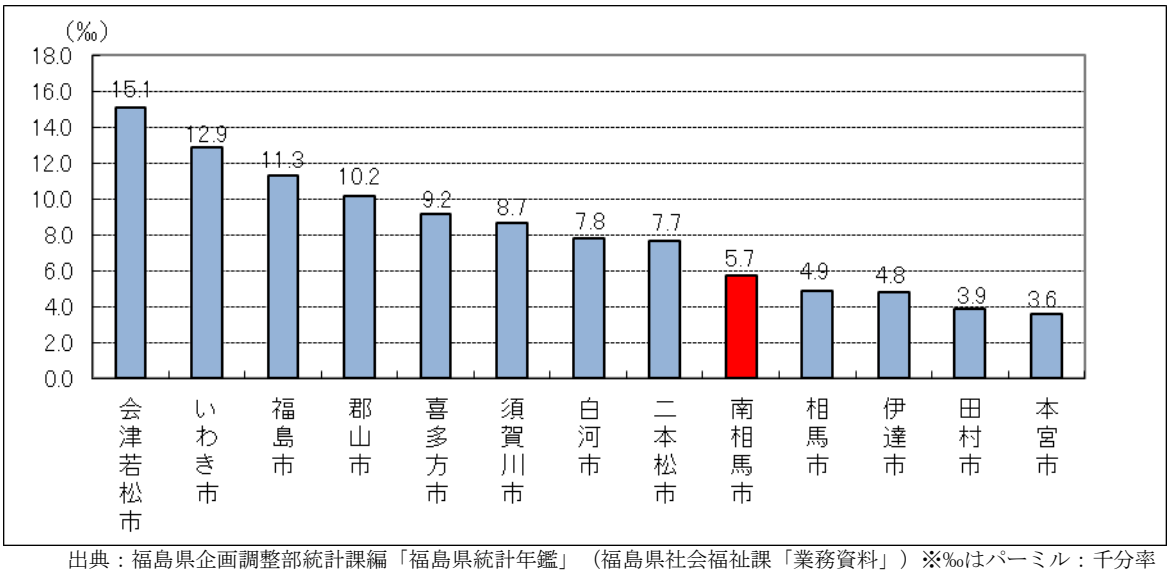
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」各年 10 月 1 日現在

（8）生活保護法による保護率



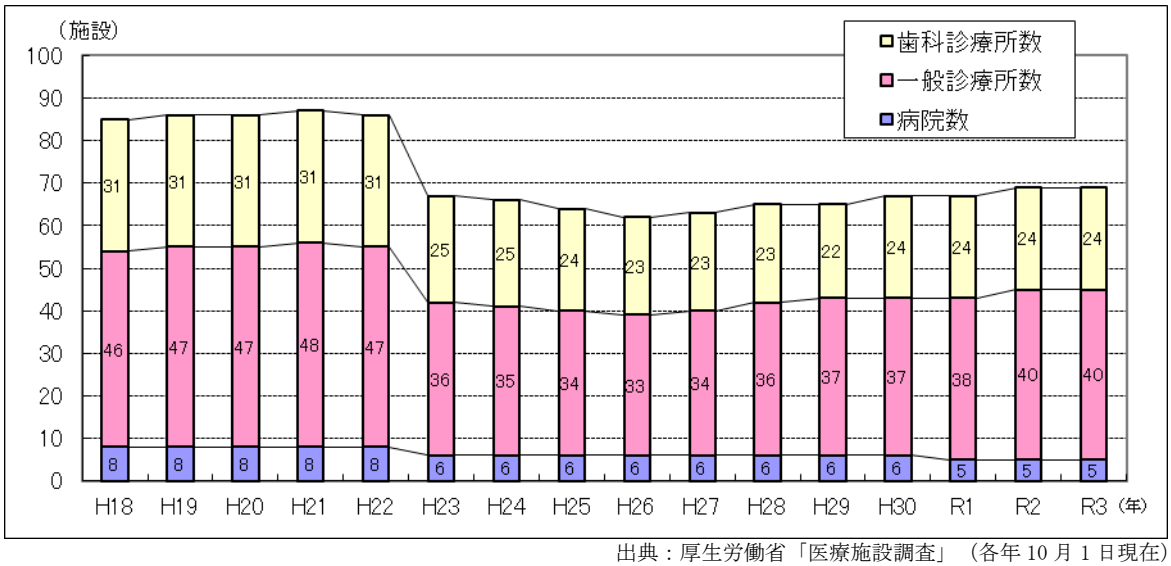
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県社会福祉課「業務資料」）※‰はパーミル：千分率

（9）生活保護法による保護率【１３市比較】／令和３年度



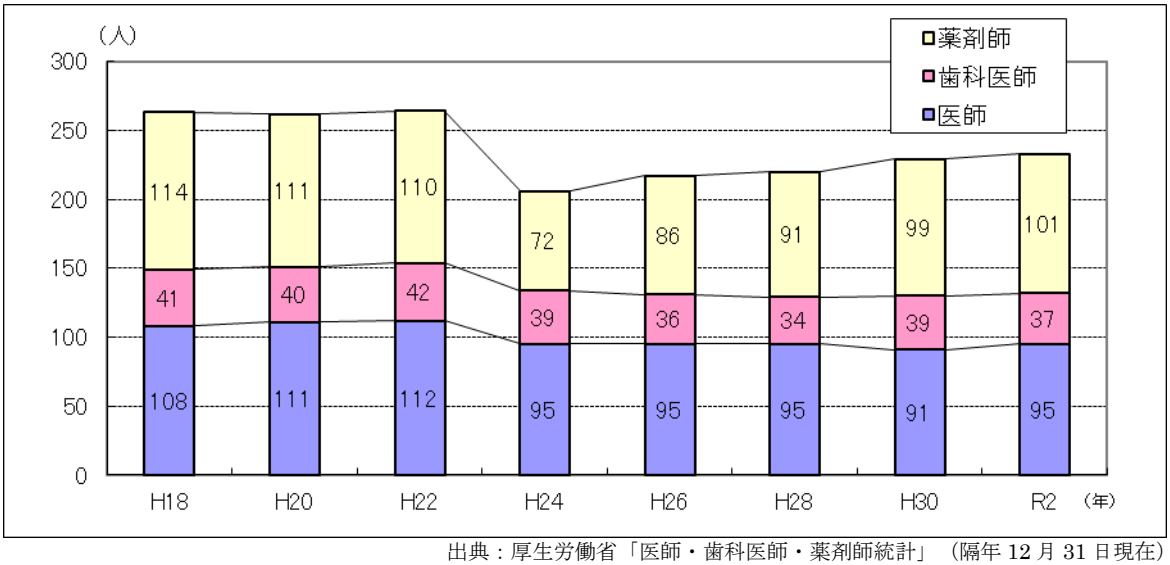
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県社会福祉課「業務資料」）※‰はパーミル：千分率

（１０）医療施設数



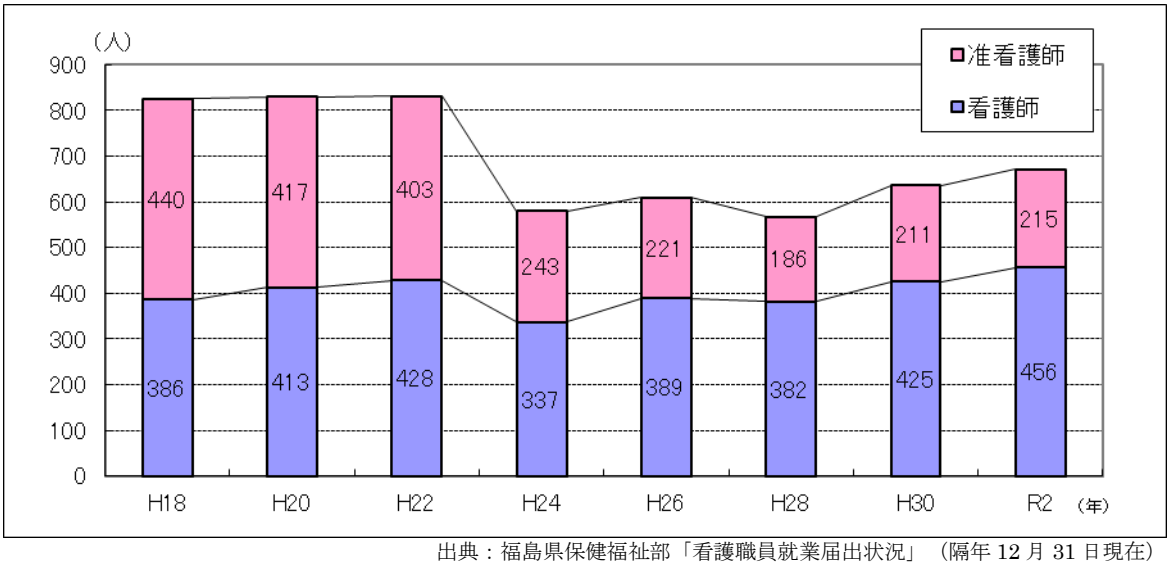
出典：厚生労働省「医療施設調査」（各年 10 月 1 日現在）

（１１）医療従事者数



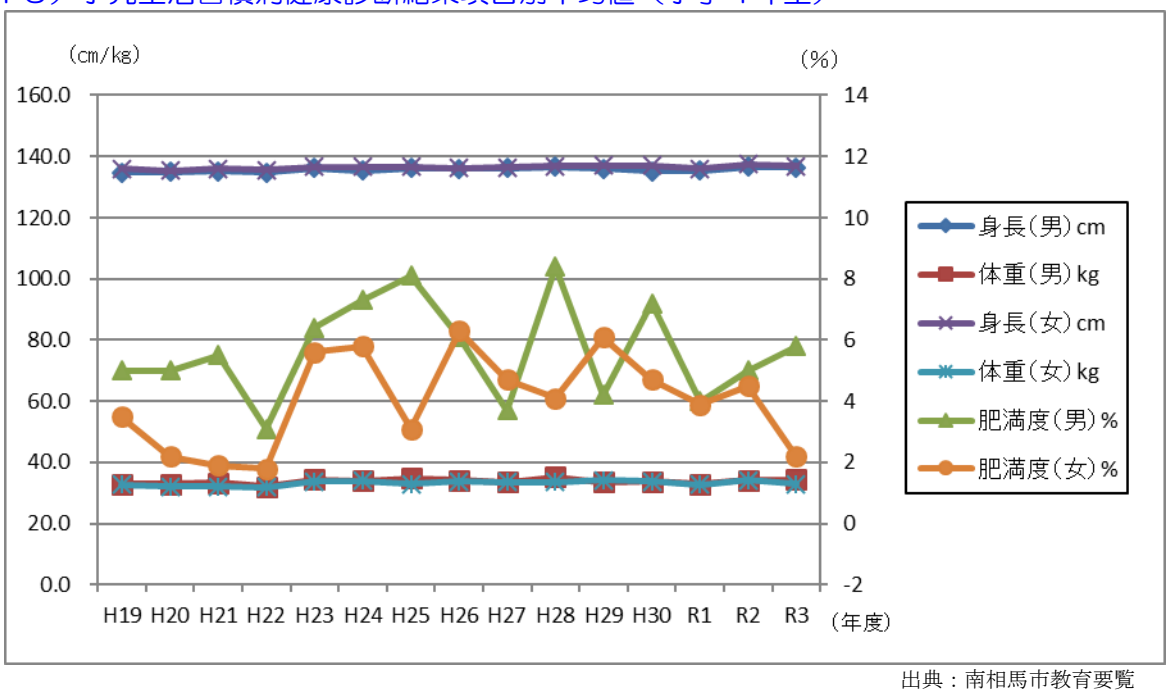
出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」（隔年 12 月 31 日現在）

（１２）看護師・准看護師数



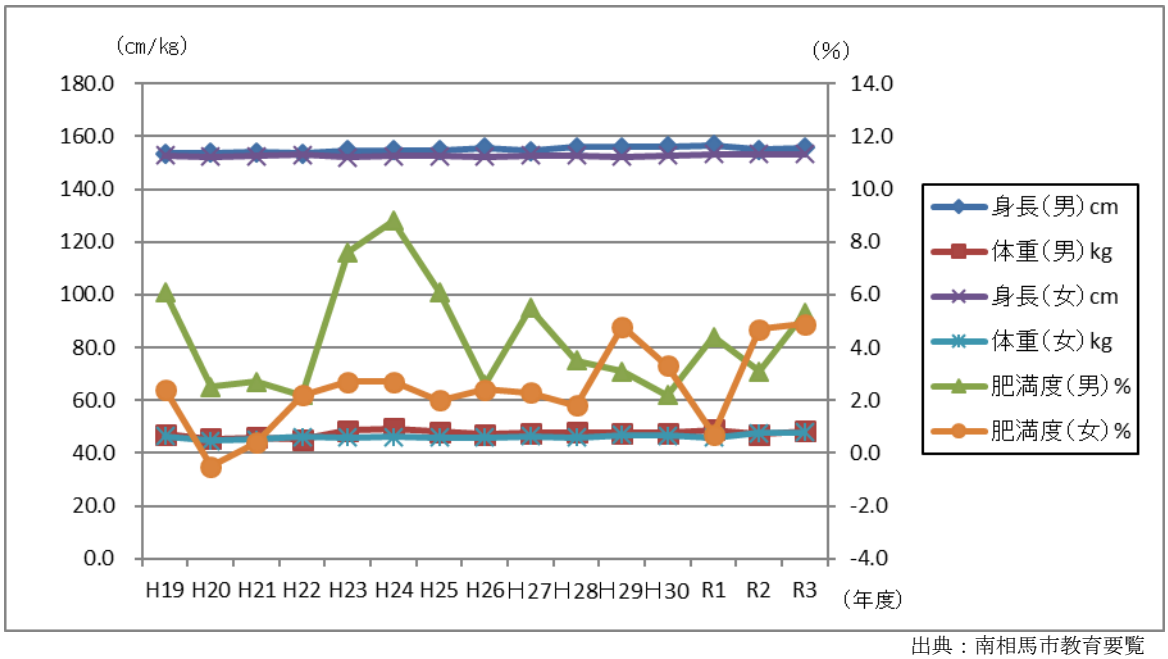
出典：福島県保健福祉部「看護職員就業届出状況」（隔年 12 月 31 日現在）

（１３）小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値（小学４年生）



出典：南相馬市教育要覧
肥満度（%）＝（実測体重－標準体重）÷　標準体重×100
※標準体重（kg）＝（身長（cm）－100）×0.9
標準体重からのずれを百分率で表したものですが、０が標準です。
（－10%～＋15%が標準の範囲）

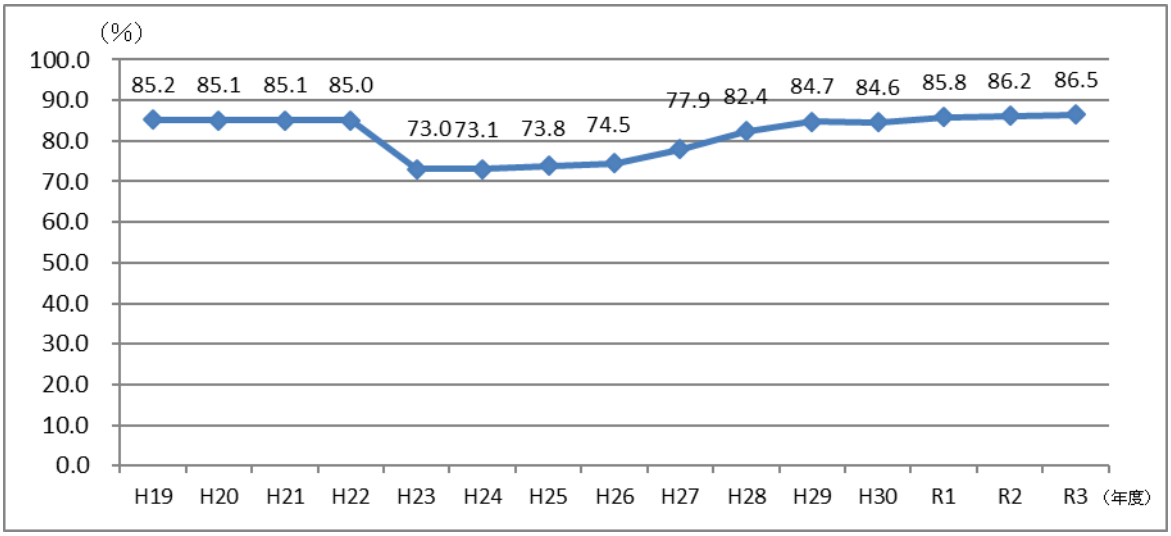
（１４）小児生活習慣病健康診断結果項目別平均値（中学１年生）



出典：南相馬市教育要覧
肥満度（%）＝（実測体重－標準体重）÷標準体重×100
※標準体重（kg）＝（身長（cm）－100）×0.9
標準体重からのずれを百分率で表したものですが、０が標準です。
（－10%～＋15%が標準の範囲です）

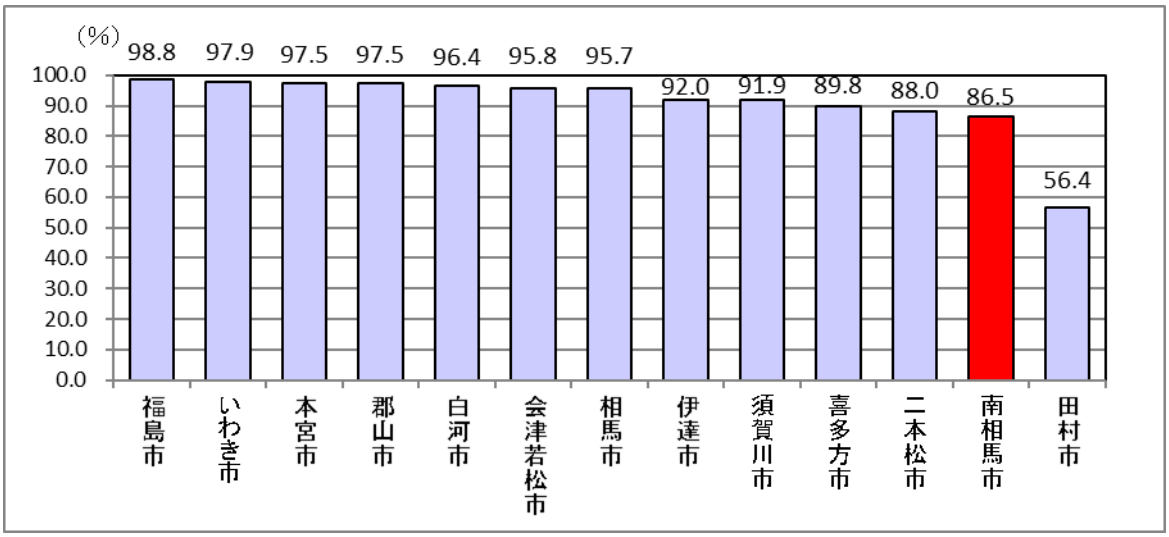
１０　環境・安全

（１）上水道施設普及率



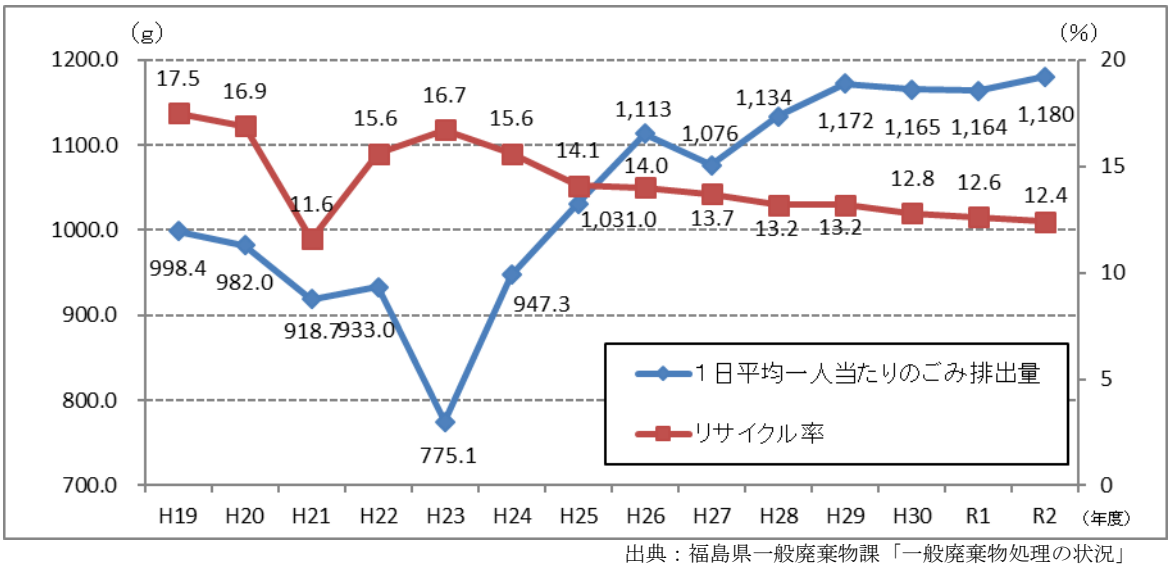
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県食品生活衛生課「業務資料」）（年度末現在）
H22 年度は、震災の影響で給水人口データを推計値にて算出。
H23～27 年度は、震災の影響で小高区の給水人口を０としている。

（２）上水道施設普及率【13 市比較】／令和３年度



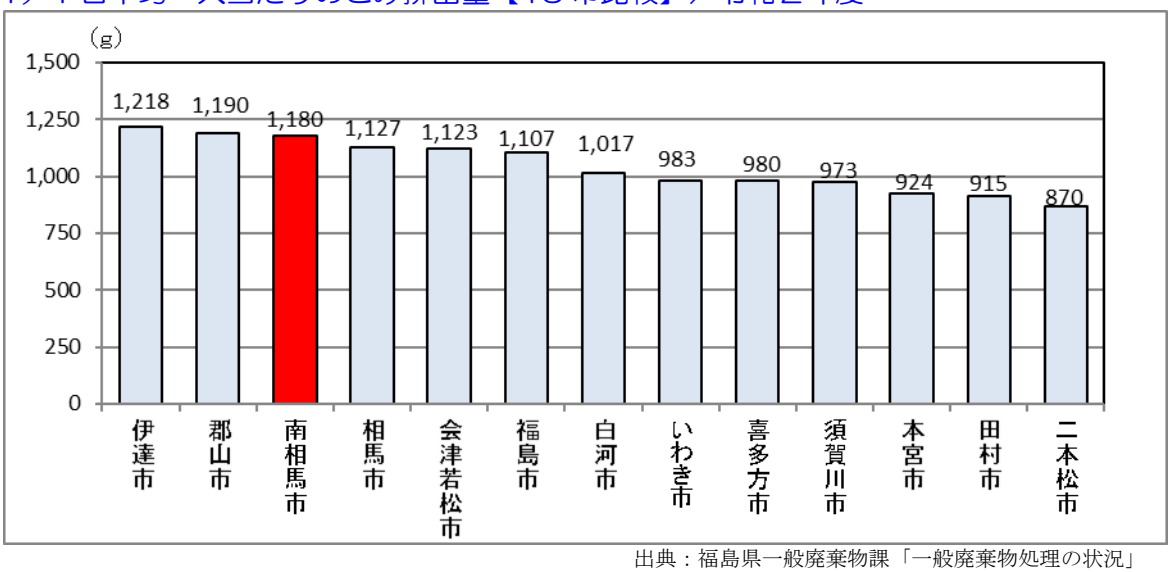
出典：福島県企画調整部統計課編「福島県統計年鑑」（福島県食品生活衛生課「業務資料」）（年度末現在）

（３）ごみ処理状況



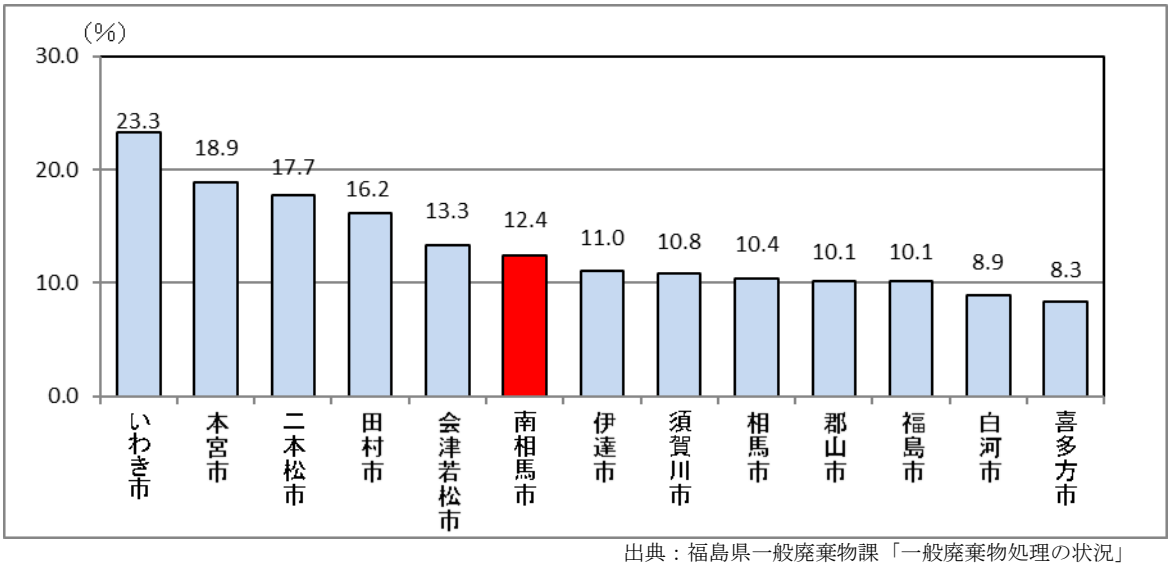
出典：福島県一般廃棄物課「一般廃棄物処理の状況」

（4）１日平均一人当たりのごみ排出量【13 市比較】／令和２年度



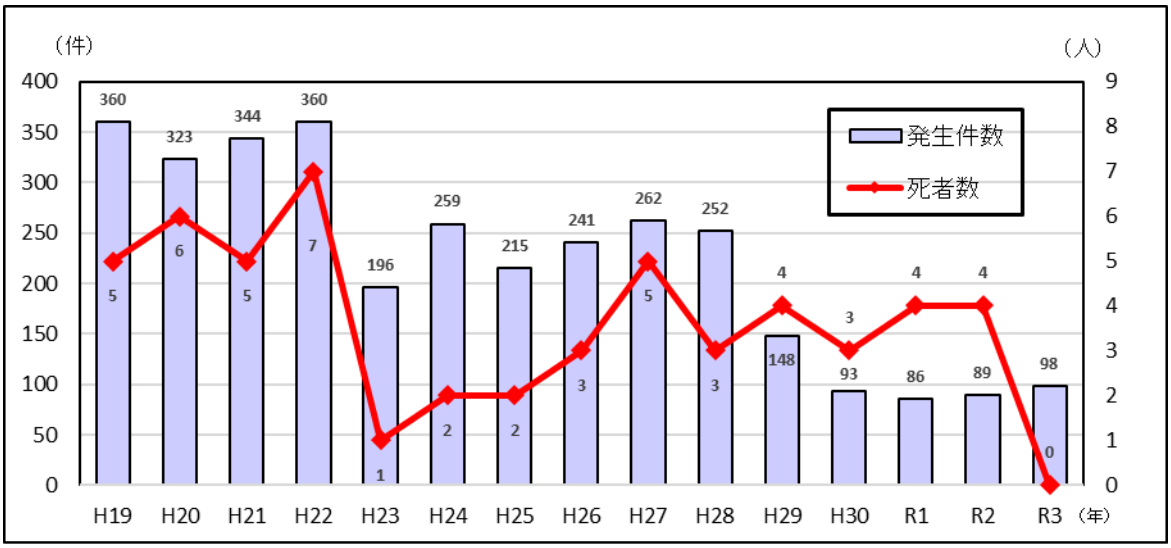
出典：福島県一般廃棄物課「一般廃棄物処理の状況」

（5）リサイクル率【13 市比較】／令和２年度



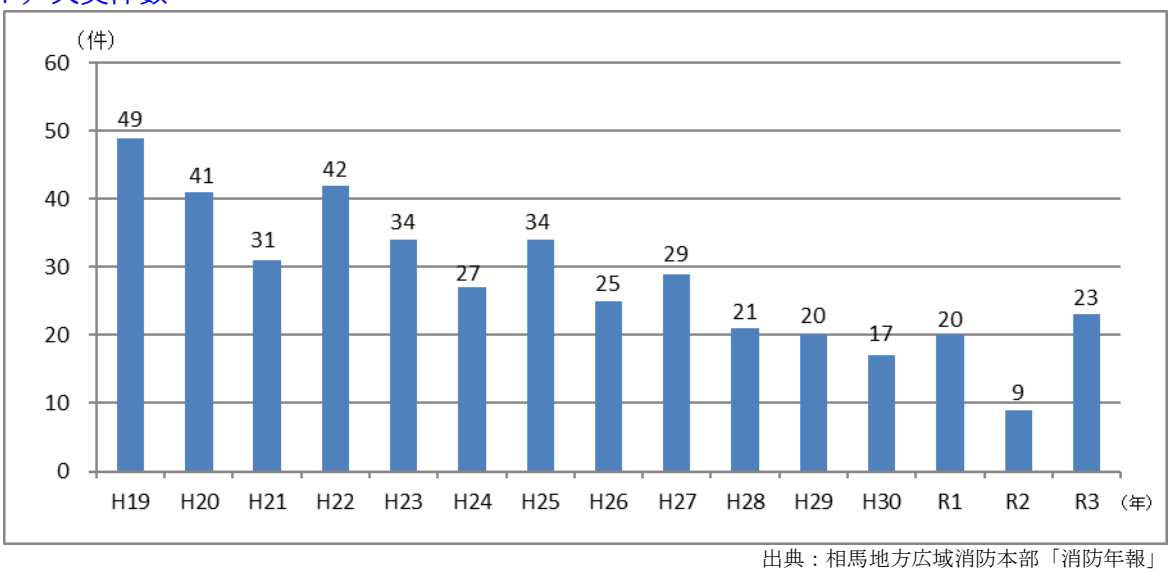
出典：福島県一般廃棄物課「一般廃棄物処理の状況」

（6）交通事故発生状況及び死者数



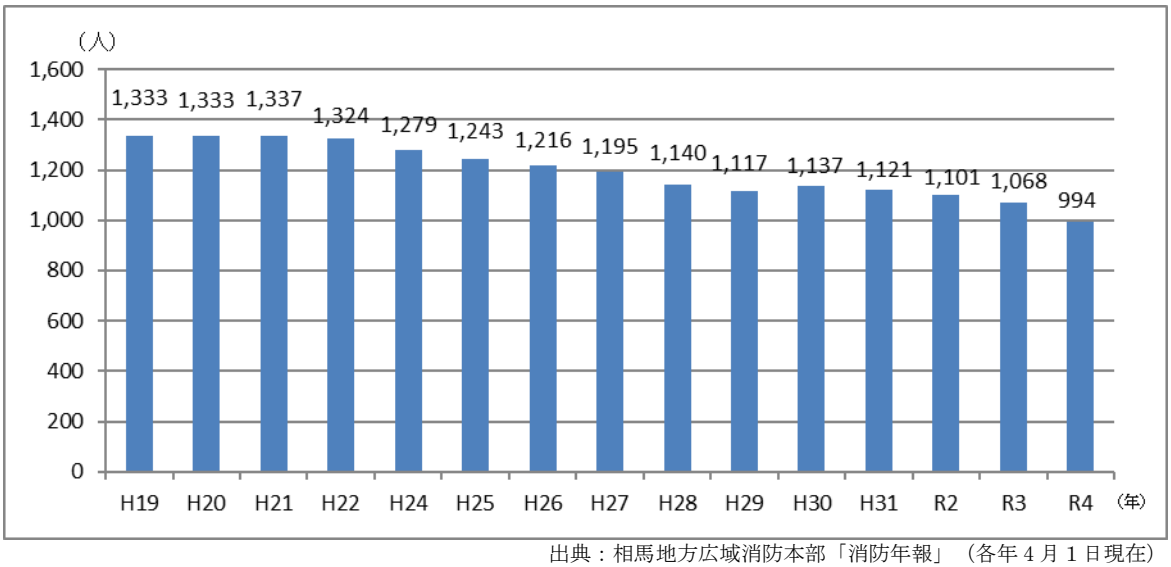
出典：福島県警察本部「交通白書」※物損事故は含まない

（７）火災件数



出典：相馬地方広域消防本部「消防年報」

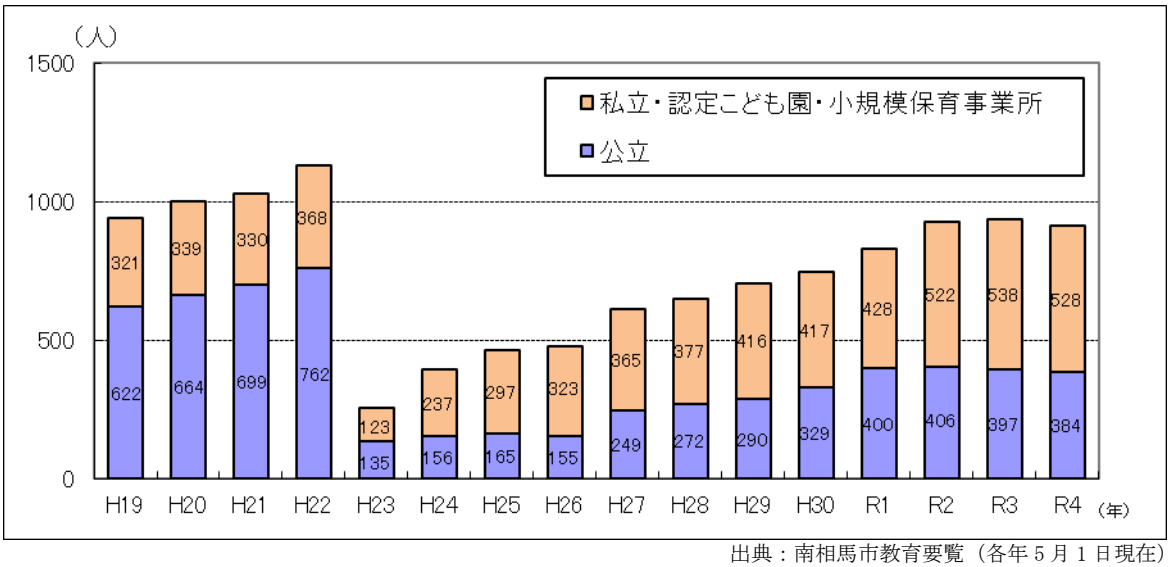
（８）消防団員数



出典：相馬地方広域消防本部「消防年報」（各年４月１日現在）
※H23 年は統計なし

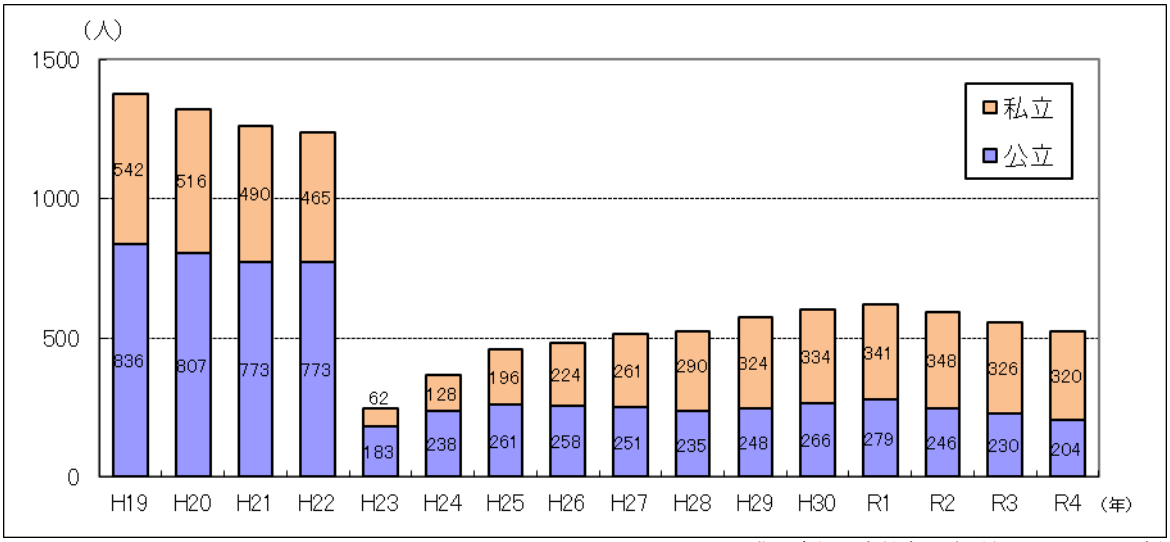
１１　教育・文化

（１） 保育園園児数



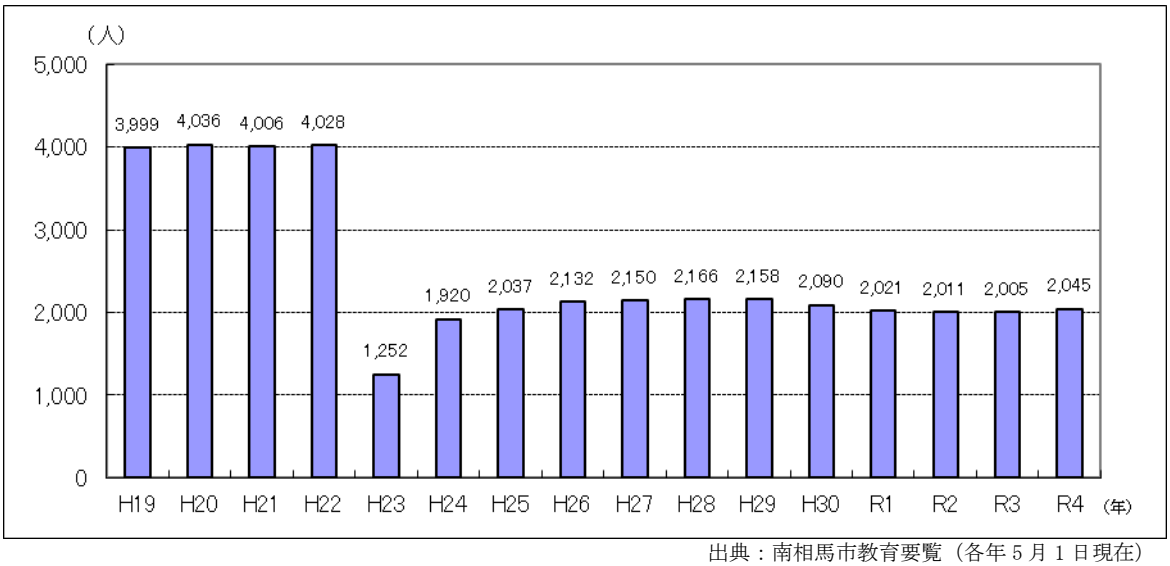
出典：南相馬市教育要覧（各年５月１日現在）
※H23 年は、震災の影響により全ての保育園が休園（各園再開時の園児数を集計）

（２）幼稚園園児数



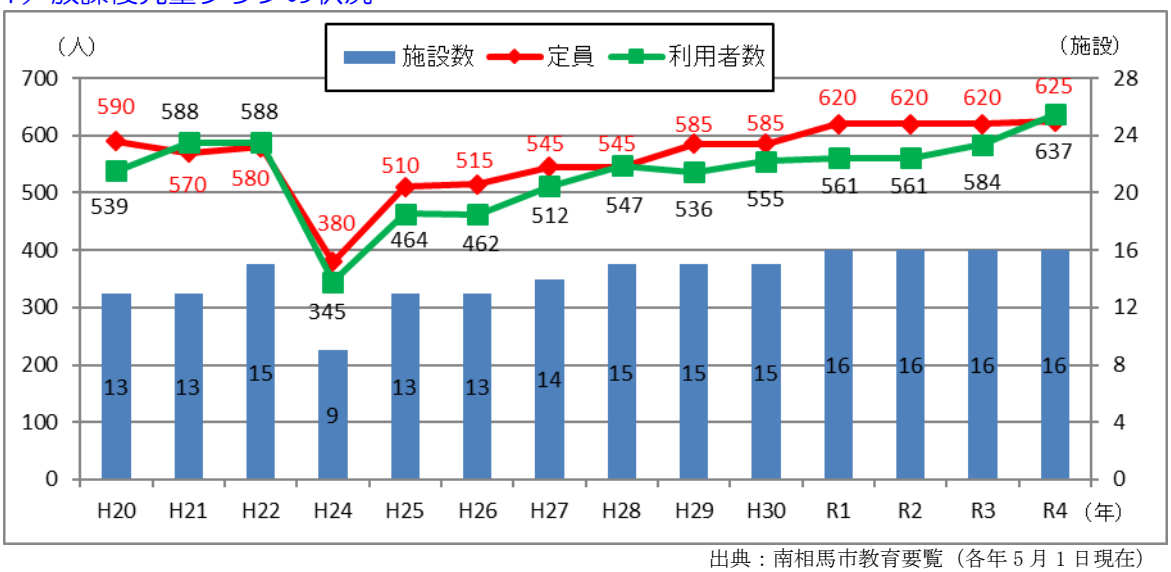
出典：南相馬市教育要覧（各年５月１日現在）
※H23 年は、震災の影響により全ての幼稚園が休園（各園再開時の園児数を集計）

（３）小学校児童数



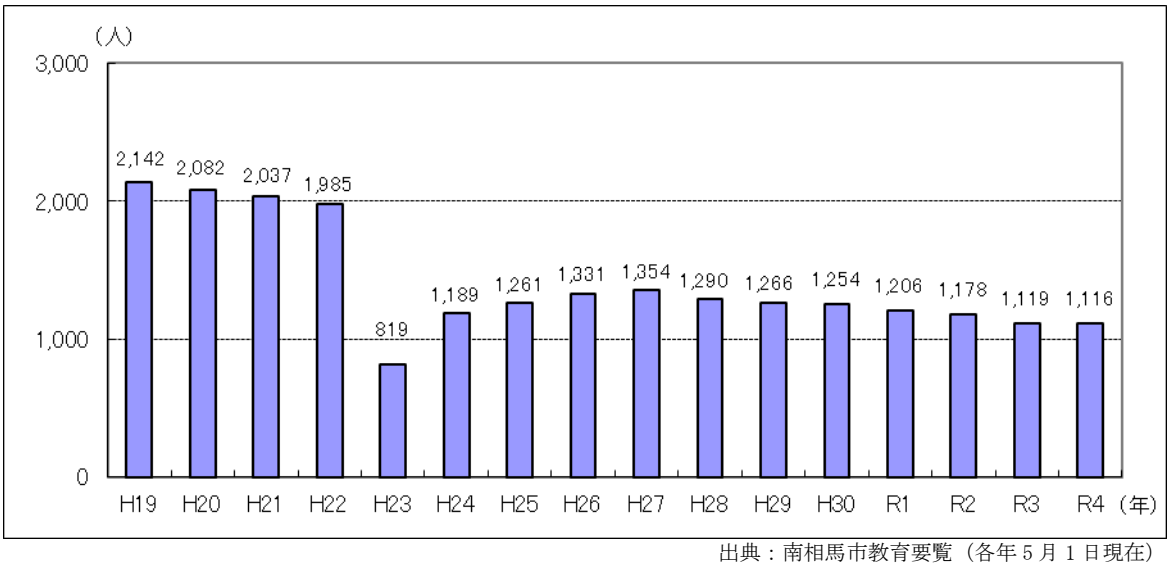
出典：南相馬市教育要覧（各年５月１日現在）

（4）放課後児童クラブの状況



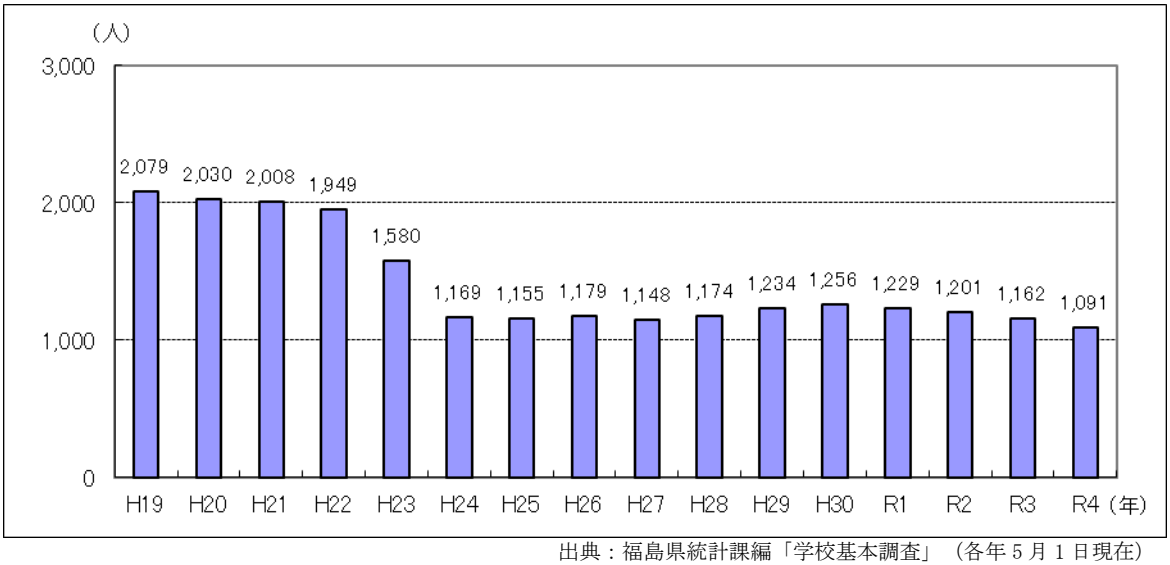
出典：南相馬市教育要覧（各年５月１日現在）
※社会福祉協議会設置の施設及び休止中の施設を除く。※H23 年は統計なし

（5）中学校生徒数



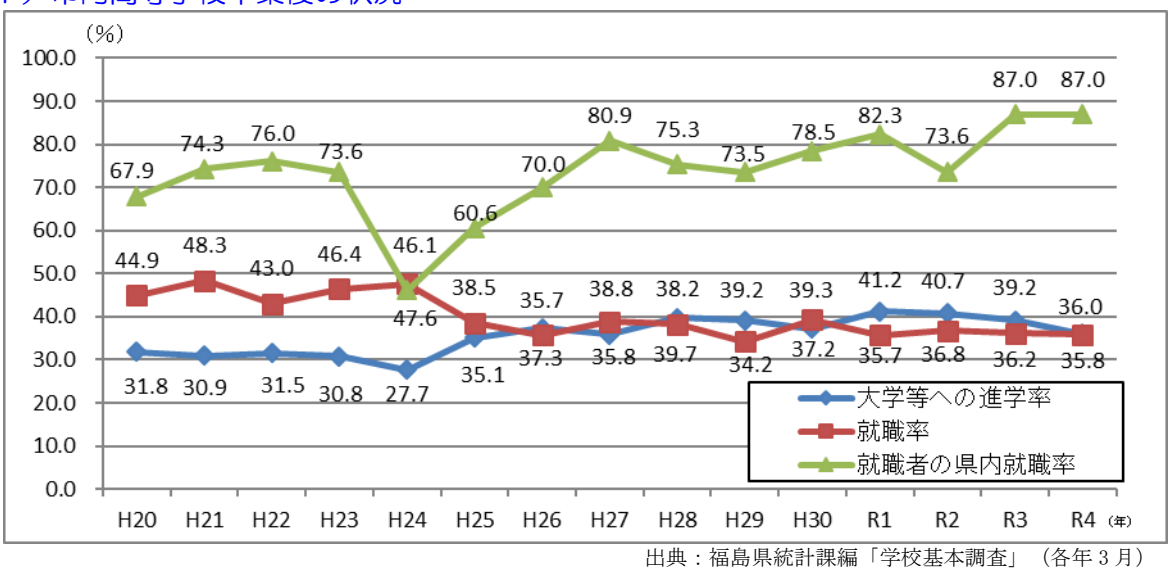
出典：南相馬市教育要覧（各年５月１日現在）

（6）高等学校生徒数



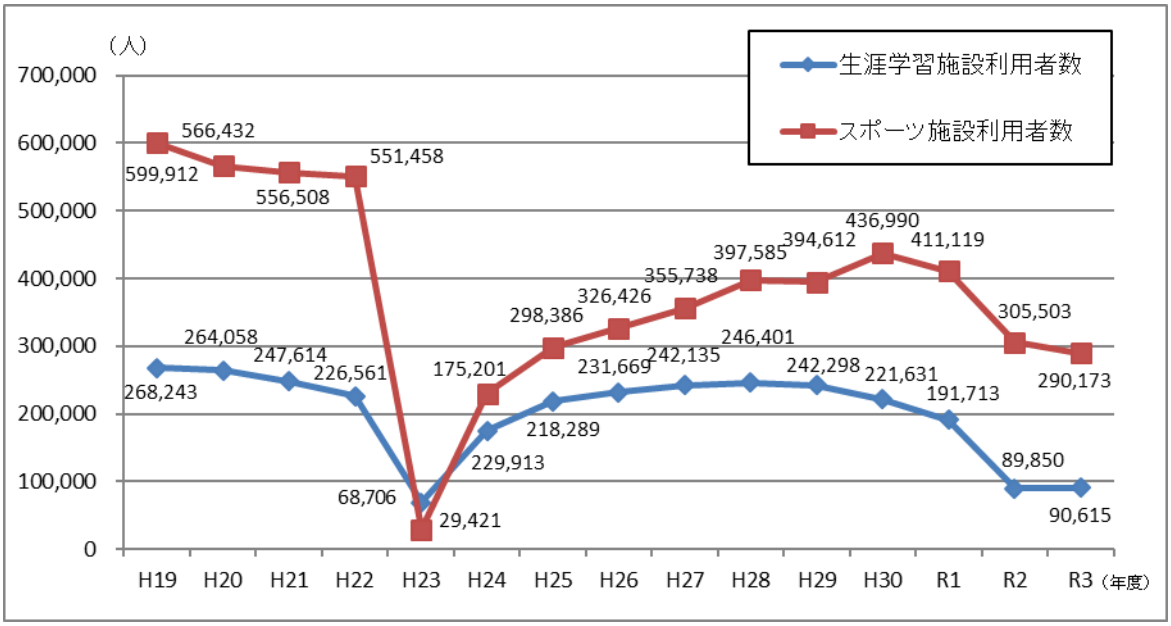
出典：福島県統計課編「学校基本調査」（各年５月１日現在）

（７）市内高等学校卒業後の状況



出典：福島県統計課編「学校基本調査」（各年３月）
※大学等：大学、短期大学

（８）生涯学習施設・スポーツ施設利用者数



出典：南相馬市教育要覧
※H23 年度～R1 年度は、震災の影響により一部の施設が利用休止

南相馬市統計集「まちＤス 2022」
令和５年３月

■発行／南相馬市
■編集／総務部デジタル推進課統計係
〒975-8686
福島県南相馬市原町区本町二丁目２７番地
電話 0244-24-5412